

各機関からの話題提供

令和8年5月25日

重信川流域治水協議会
重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会

各機関からの話題内容

1. 松山河川国道事務所

2. 国土地理院

3. 松山地方気象台

4. 河川情報センター

5. 水災害予報センター

関係機関との情報連絡体制の確認

①減災対策協議会構成員及び幹事会構成員の連絡先共有

- 堤防が破堤した場合等、重要な情報が確実に伝達されるよう、市町村も含め、減災対策協議会の構成員における情報共有体制の確認を行います。

令和8年度 重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会 構成員名簿(連絡体制名簿)

令和8年4月1日現在

機関名		協議会構成員			幹事会構成員		
機関名	役職	氏名(ふりがな)	シムズ	担当課長等役職	課長等氏名(ふりがな)	シムズ	シムズ
愛媛県土木部 河川港湾局	河川課長	清水 一博	シムズ カズヒロ	主幹	小林 康司	コバヤシ ヤスシ	
愛媛県 中子地方局 地域産業振興部	地域産業 振興部長	高尾 浩司	タカオ コウジ	防災対策室長	小池 哲	コイケ サトシ	
愛媛県 中子地方局 建設部	建設部長	村上 雅彦	ムラカミ ヤスヒコ	河川砂防課長	田口 真	タウチ シン	
愛媛県警察本部	警備部長	村上 靖志	ムラカミ ヤスシ	警備課長	池田 哲也	イケダ テツヤ	
松山東警察署	署長	近藤 正人	コンドウ マサト	警備課長	相原 健盛	アイハラ ケンセイ	
松山西警察署	署長	林 克彦	ハヤシ カツヒコ	警備課長	古田 康輔	コルタ コウスケ	
松山南警察署	署長	喜井 幸介	キイ コウスケ	警備課長	山崎 尚徳	ヤマザキ ナオノリ	
伊予警察署	署長	曾我 龍哉	ソガ タツヤ	警備課長	武知 祐樹	タケチ ヨウキ	
松山市	松山市長	野志 克仁	ノシ カキト	防災危機管理課 危機管理課長	菅 直樹	スガ ナオキ	
伊予市	伊予市長	武智 邦典	タケチ クニノリ	総務部 危機管理課長	池田 誠	イケダ マコト	
東温市	東温市長	加藤 章	カノウ アキラ	産業建設部 土木管理課長	長岡 崇	ナガオカ タカシ	
松前町	松前町長	田中 浩介	タナカ コウスケ	総務部 危機管理課長	橋本 剛	ハシモト ツヨシ	
松前町	松前町長	田中 浩介	タナカ コウスケ	産業建設部 まちづくり課長	金子 裕之	カナゴ ヒロユキ	
松前町	松前町長	古谷 崇洋	フクヤニ タカヒロ	総務課 危機管理室長	大政 邦弘	オオサキ クニヒロ	
松前町	松前町長	古谷 崇洋	フクヤニ タカヒロ	建設課長	林 健児	ハヤシ ケンジ	
国土交通省 国土地理院 四国地方測量部	四国地方測量部長	宮本 純一	ミヤモト ジュンイチ	防災・地理空間情報 管理官	宮本 歩	ミヤモト フユム	
気象庁 松山地方気象台	台長	小林 和樹	コバヤシ カズキ	水害対策気象官	片岡 幹男	カタオカ ミキオ	
国土交通省 松山河川国道 事務所	事務所長	龍島 洋伸	ハベシマ ヒロノブ	副所長(河川)	中塚 光	ナカヅカ コウ	
				工務第一課長	森田 達之	モリタ タツユキ	
				河川管理課長	山崎 元司	ヤマザキ モトシ	
				重信川出張所長	山川 正泰	ヤマノカワ マサヒロ	
				石手川ダム 管理支所長	田村 剛	タムラ ヨシ	

関係機関との情報連絡体制の確認

②ホットラインの実施ルートの複数化

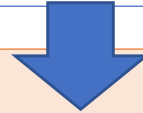
- ・ 同時多発的な洪水が発生した場合など、ホットラインによる市町長への情報提供のすべてを事務所長のみで実施することが困難となる場合を想定して、ホットラインの複数ルート化の設定を行います。

【R6】

《河川管理者》
(国の場合) 事務所長 ⇒ 《自治体》
市長・町長 (この1ラインのみ設定)

■課題

- ・ 複数破堤が発生した場合、関係市町へ事務所長のみでのホットラインは困難
- ・ 市長・町長につながらない場合の対応が考慮されていない



【R7】

《河川管理者》
第1HL : 事務所長 ⇒ 《自治体》
愛媛県 (河川港湾局長) ・ 市長・町長
第2HL : 副所長 ⇒ 愛媛県 (河川課長) ・ 副市長、助役、
防災担当部長等

■提案

- ・ 国側も複数化を行うとともに、自治体においても、首長のみではなく、首長と連絡が取れる役職の方を事前に登録。(場合によっては、副所長から愛媛県・市長・町長、所長から副市長等も想定)
- ・ 第1ホットライン、第2ホットラインとして設定して共有。

※ホットラインは携帯電話への連絡のため、別途連絡表を作成

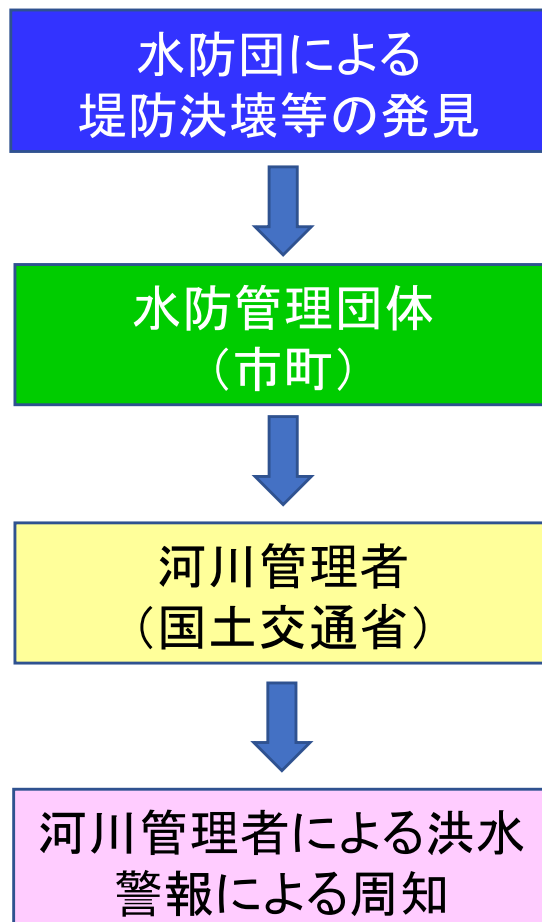
関係機関との情報連絡体制の確認

④水防団からの氾濫発生、堤防決壊及び決壊につながる情報の入手経路確認

■水防団からの情報入手ルート及び情報伝達に関する確認

- ・堤防の決壊等を水防団等が発見した場合に、速やかに河川管理者とも情報共有がなされるよう、水防管理団体との連絡体制について、確認させていただきます。(氾濫発生情報の発信に必要な情報です。)

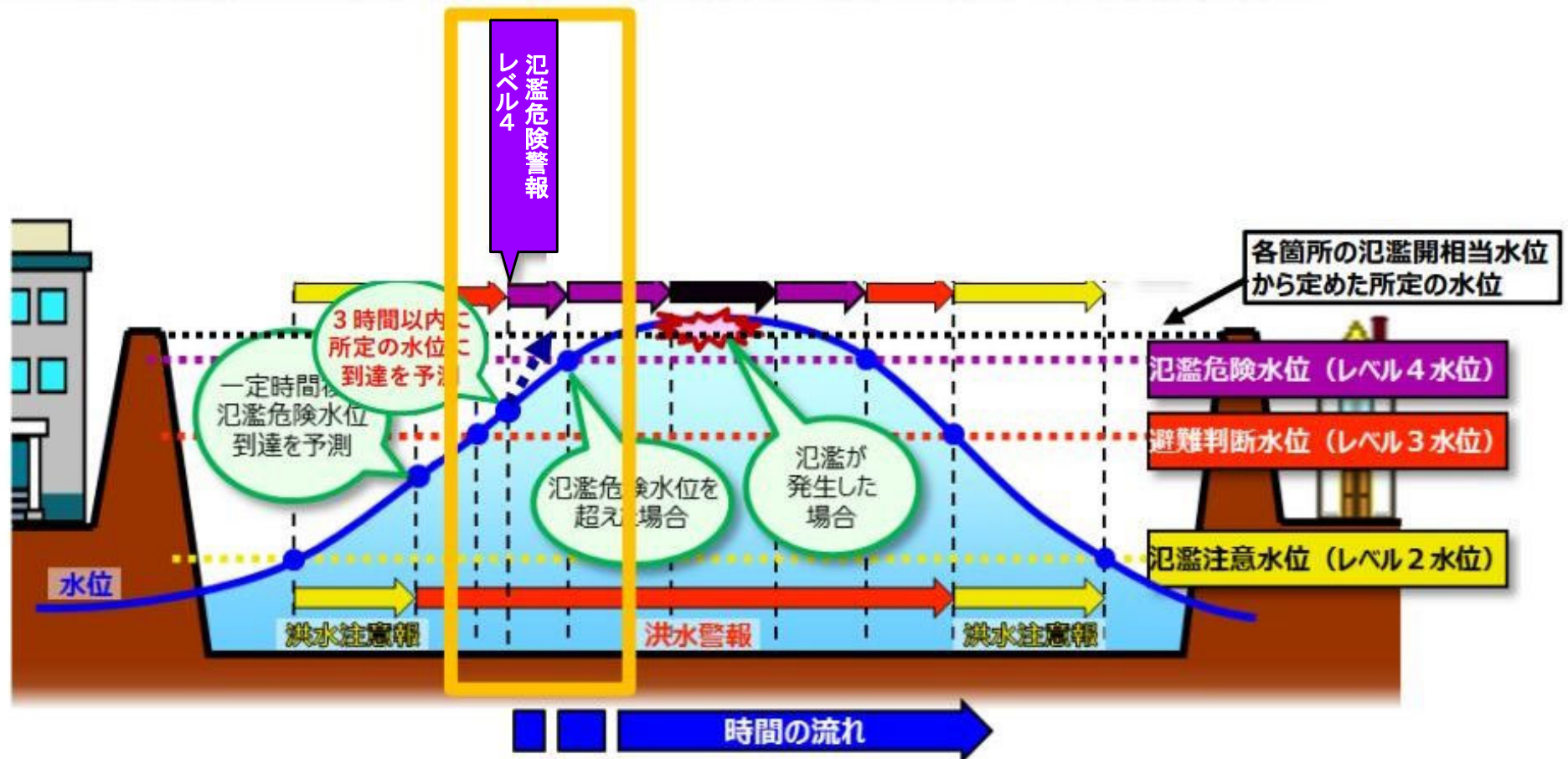
◇情報入手経路(想定)



現在(R4出水期からの運用)

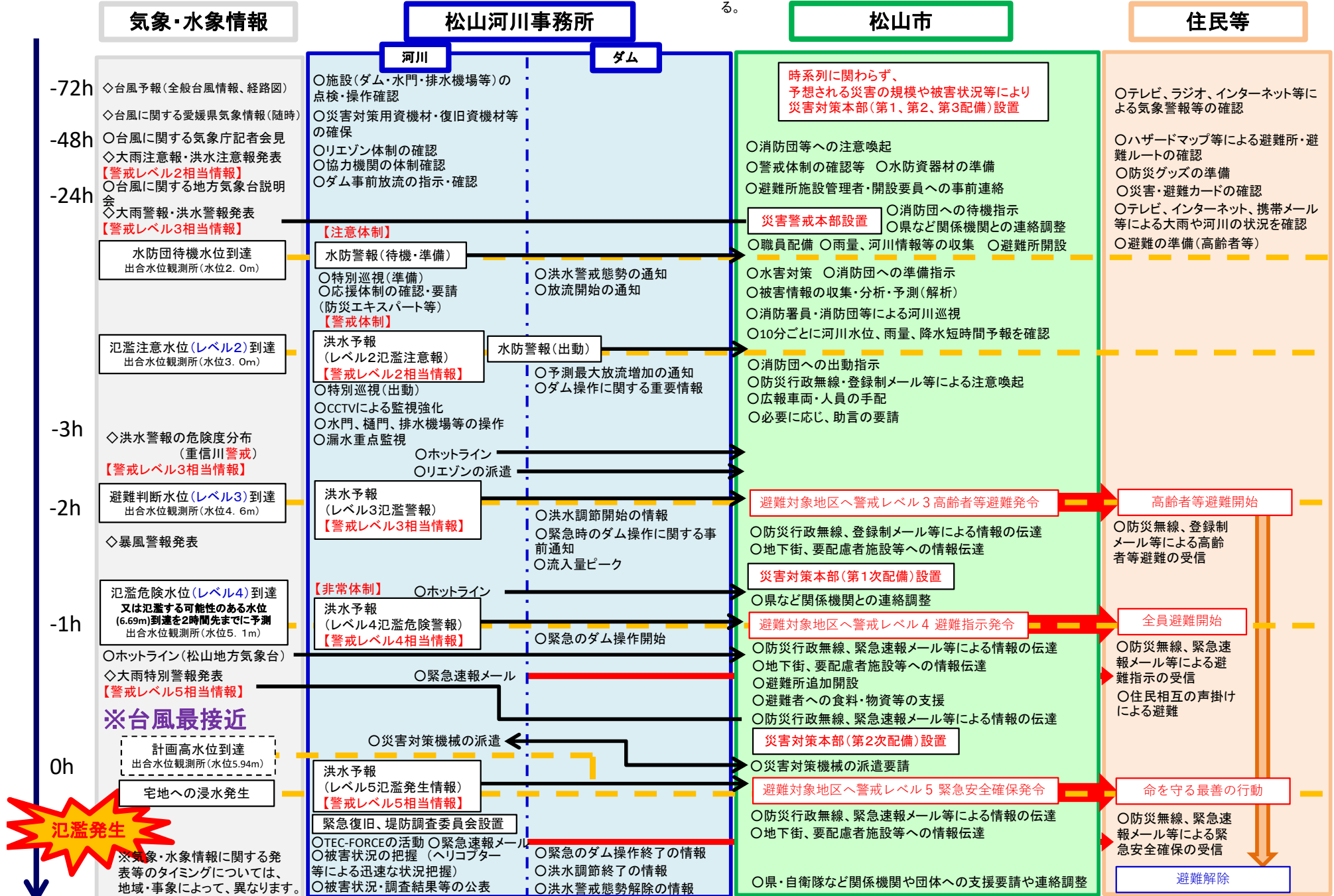
従来の運用に加えて

2時間先までの予測水位が所定の水位に到達した場合に、
レベル4氾濫危険警報(警戒レベル4相当;避難指示の目安)を発表
氾濫危険水位の設定時に考慮した条件を上回る急激な水位上昇に対応し、
これまでの運用より早い段階から警戒を呼びかけることが可能になる。



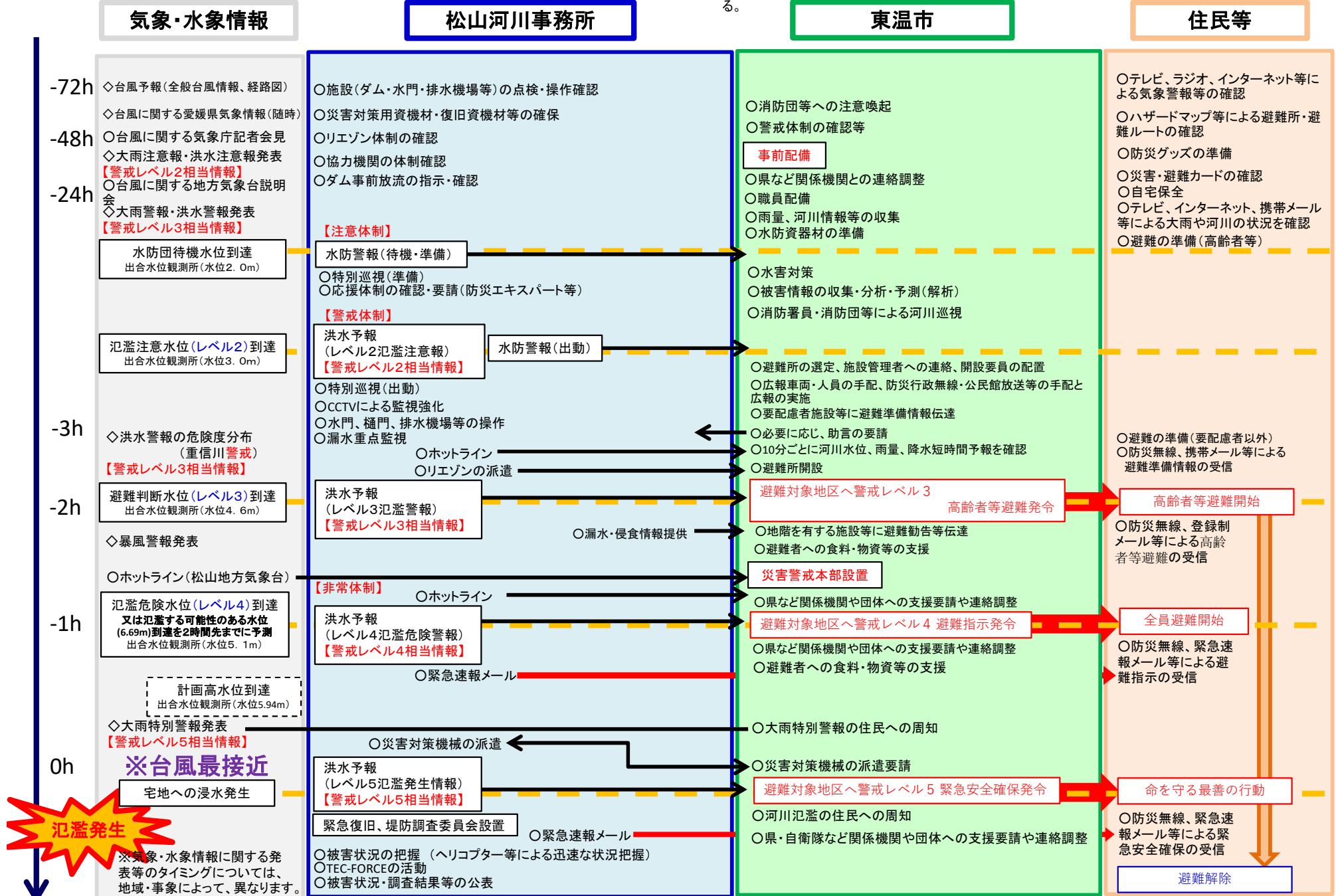
※時間経過は基本方針の出合地点計画高水決定洪水ハイドログラフを参考。

※このタイムラインは、行動の目安であり、災害の規模や被害状況等により、前後、または、変更する場合があります。



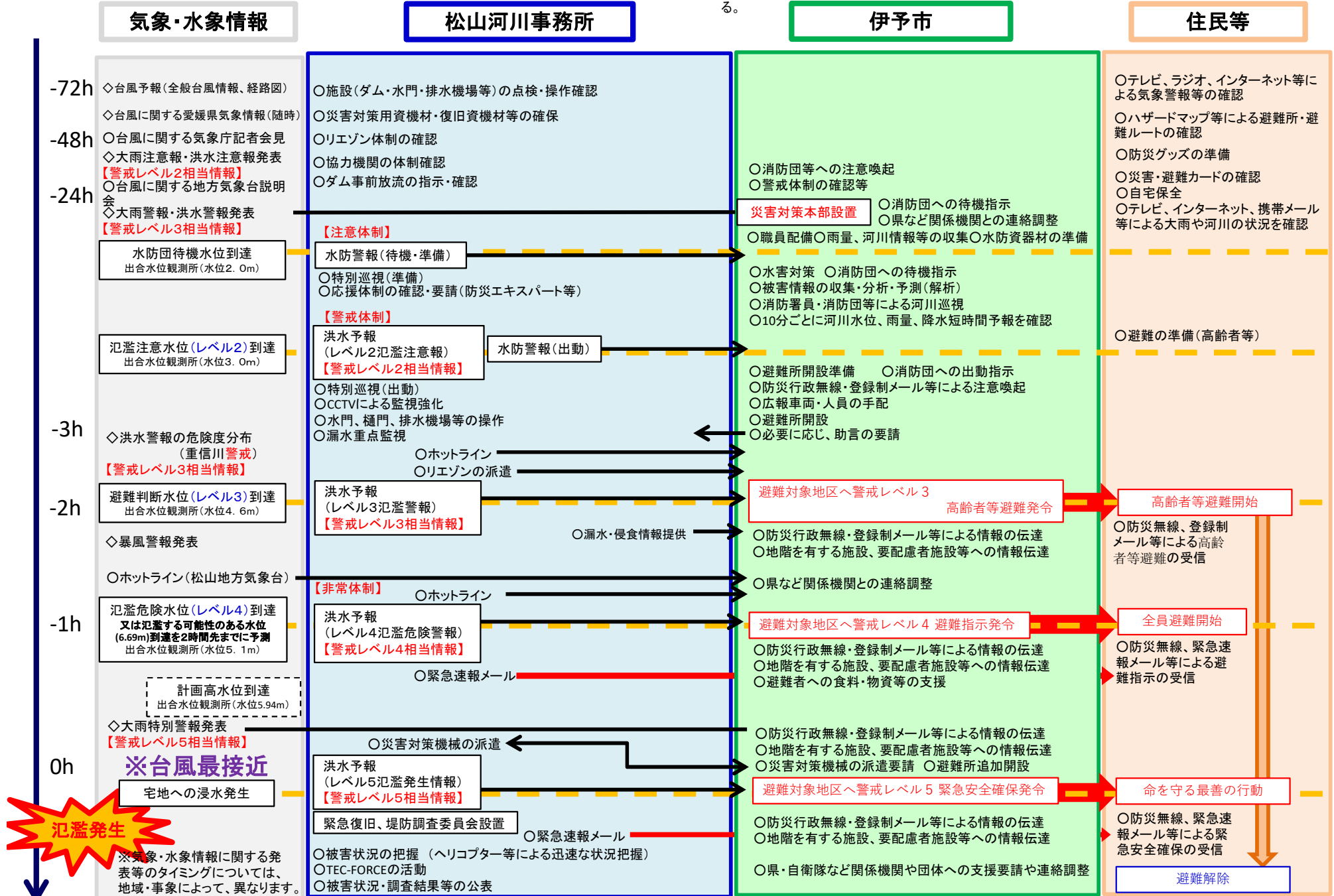
※時間経過は基本方針の出合地点計画高水決定洪水ハイドログラフを参考。

※このタイムラインは、行動の目安であり、災害の規模や被害状況等により、前後、または、変更する場合がある。



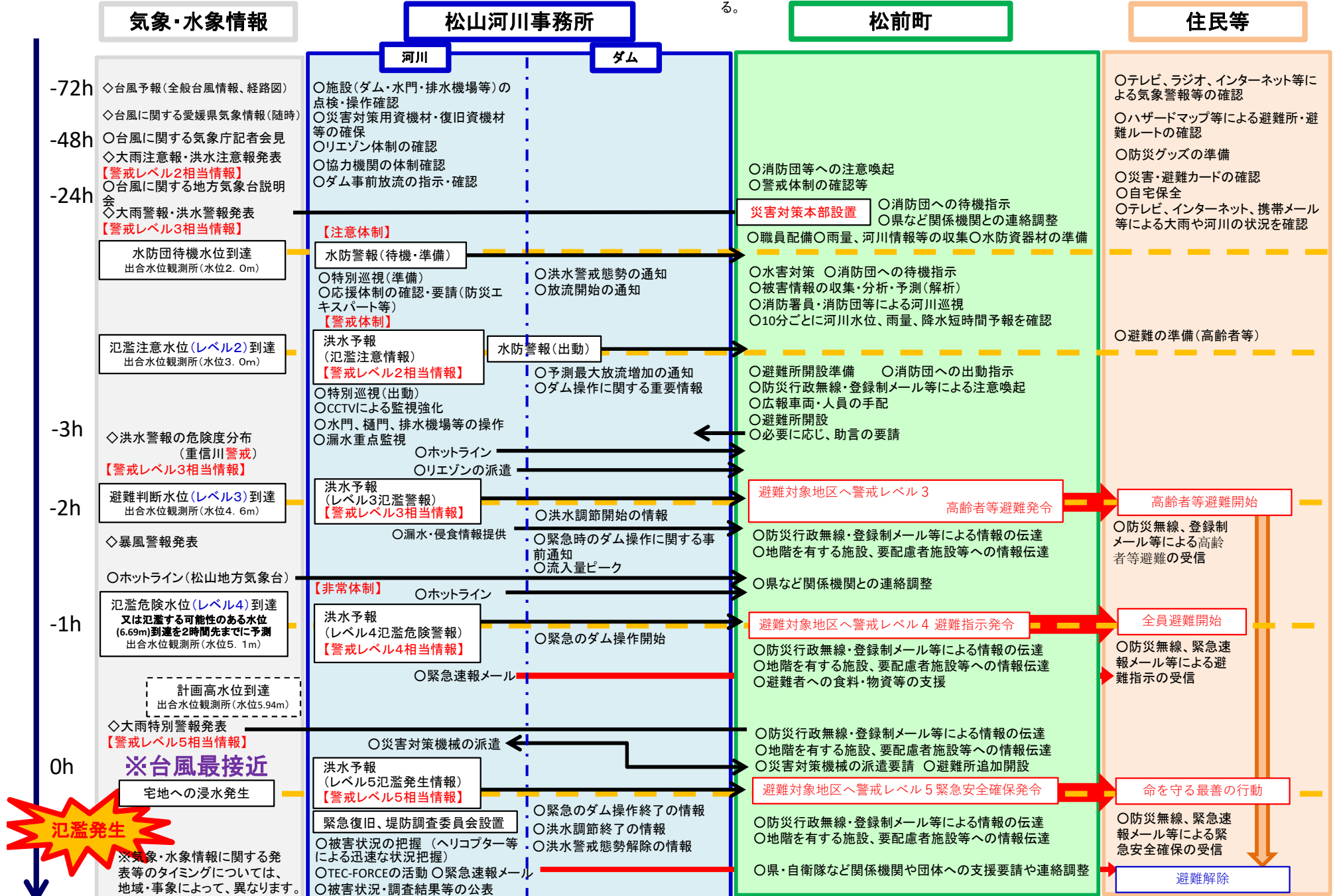
※時間経過は基本方針の出合地点計画高水決定洪水ハイドログラフを参考。

※このタイムラインは、行動の目安であり、災害の規模や被害状況等により、前後、または、変更する場合があります。



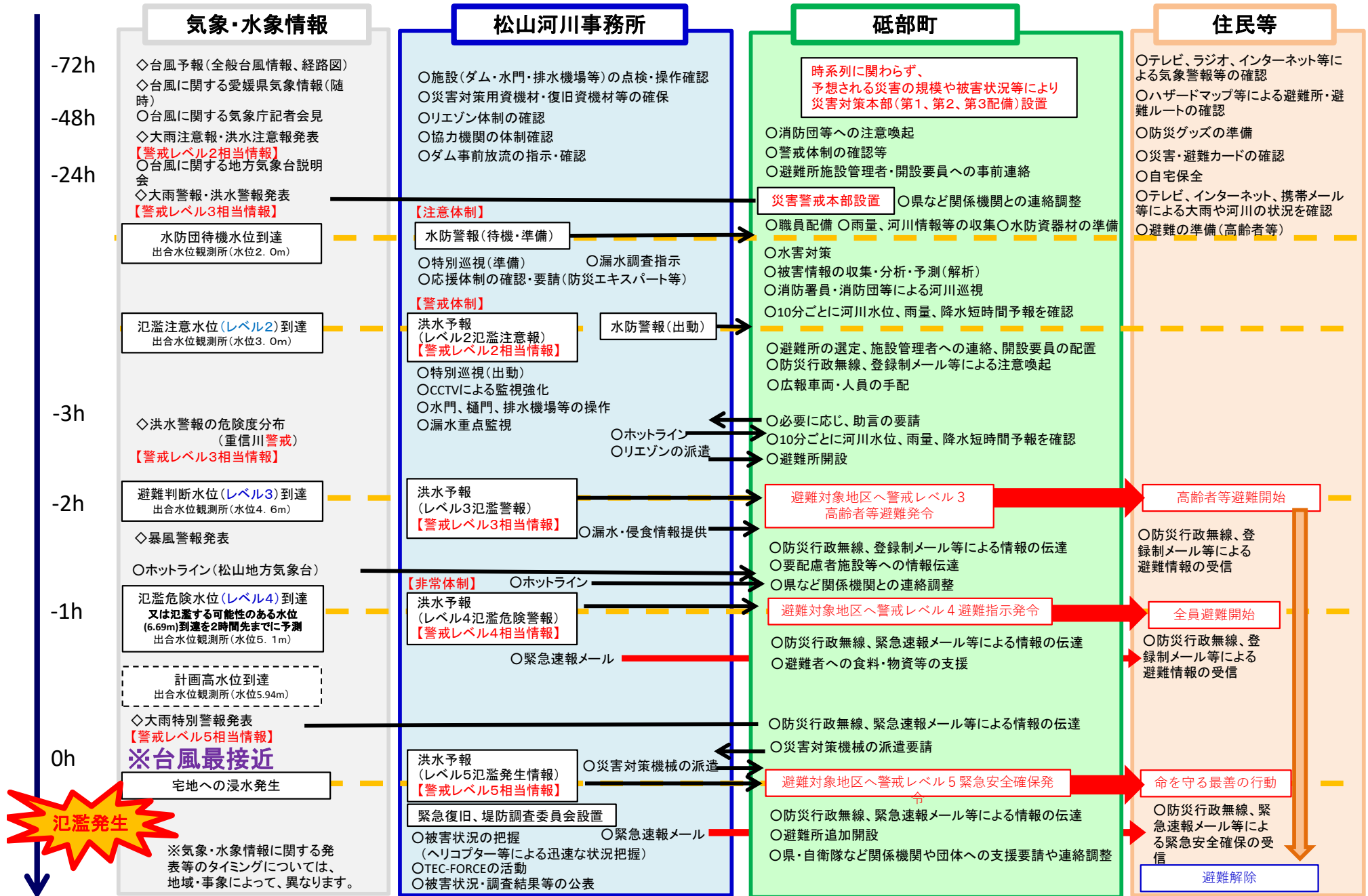
※時間経過は基本方針の出合地点計画高水決定洪水ハイドログラフを参考。

※このタイムラインは、行動の目安であり、災害の規模や被害状況等により、前後、または、変更する場合があります。



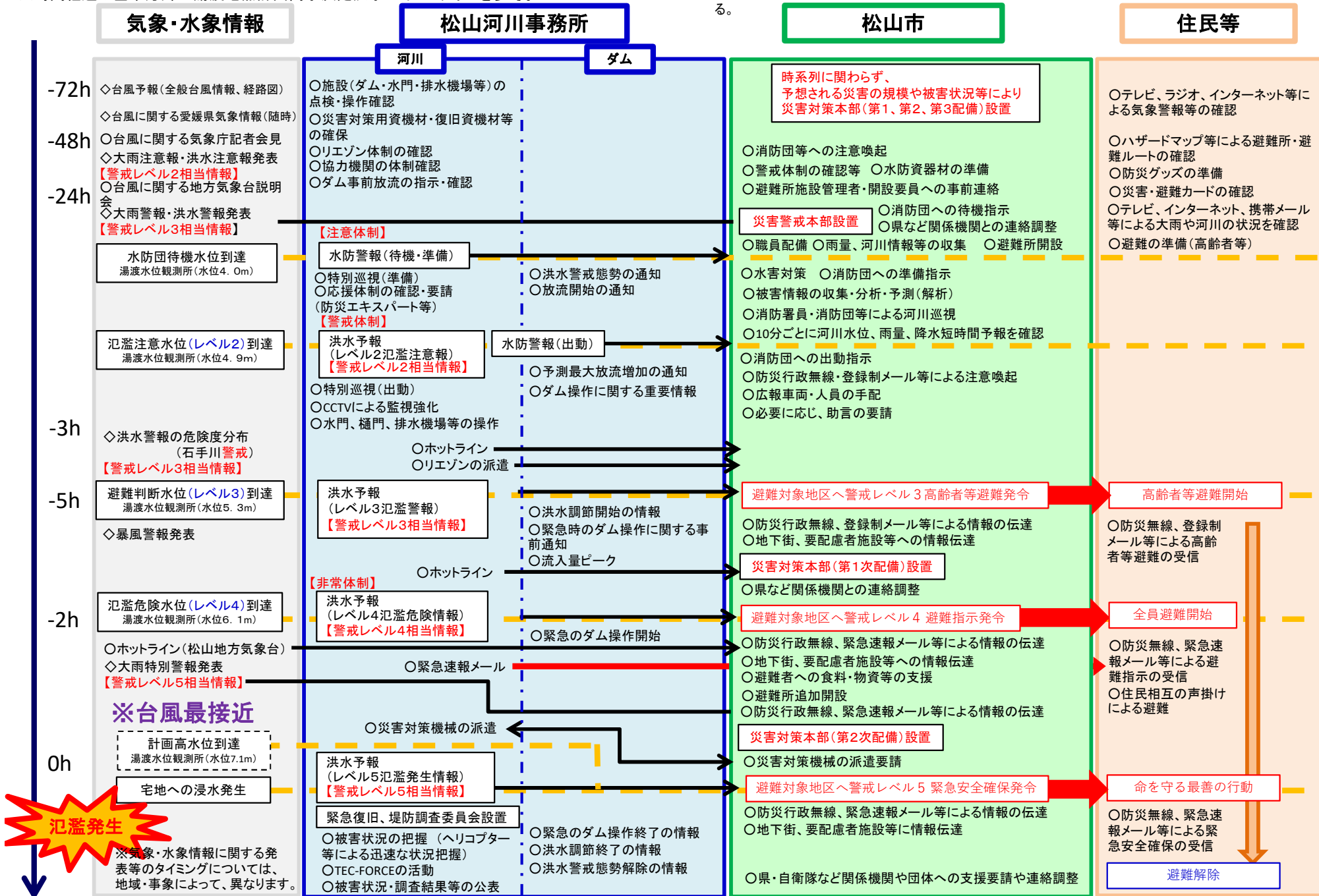
※時間経過は基本方針の出合地点計画洪水決定洪水ハイドログラフを参考。

※このタイムラインは、行動の目安であり、災害の規模や被害状況等により、前後、または、変更する場合があります。



※時間経過は基本方針の湯渡地点計画高水決定洪水ハイドログラフを参考。

※このタイムラインは、行動の目安であり、災害の規模や被害状況等により、前後、または、変更する場合があります。



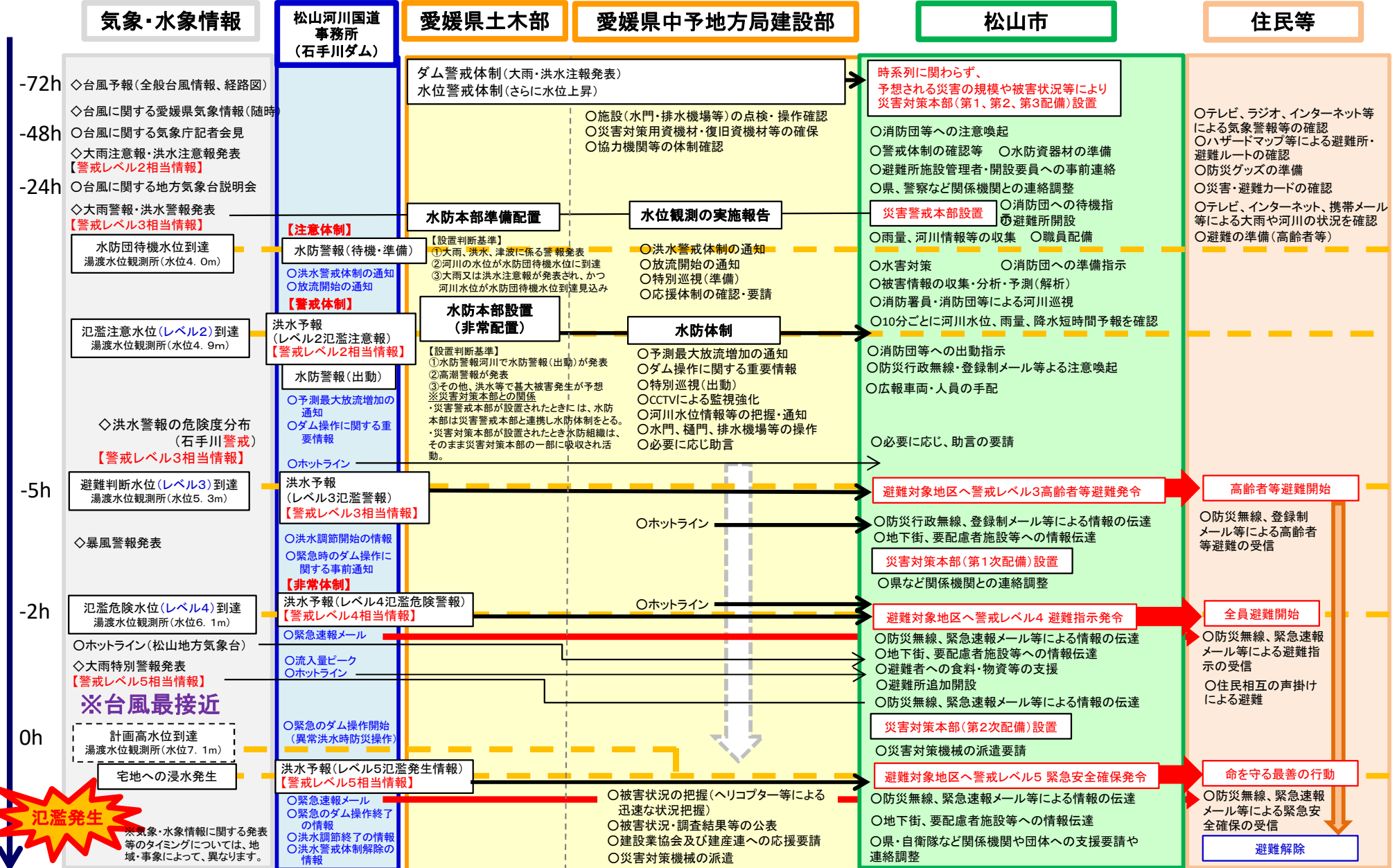
水系名:重信川
河川名:石手川

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、重信川指定河川管理区間沿川における松山市の避難情報の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(案)

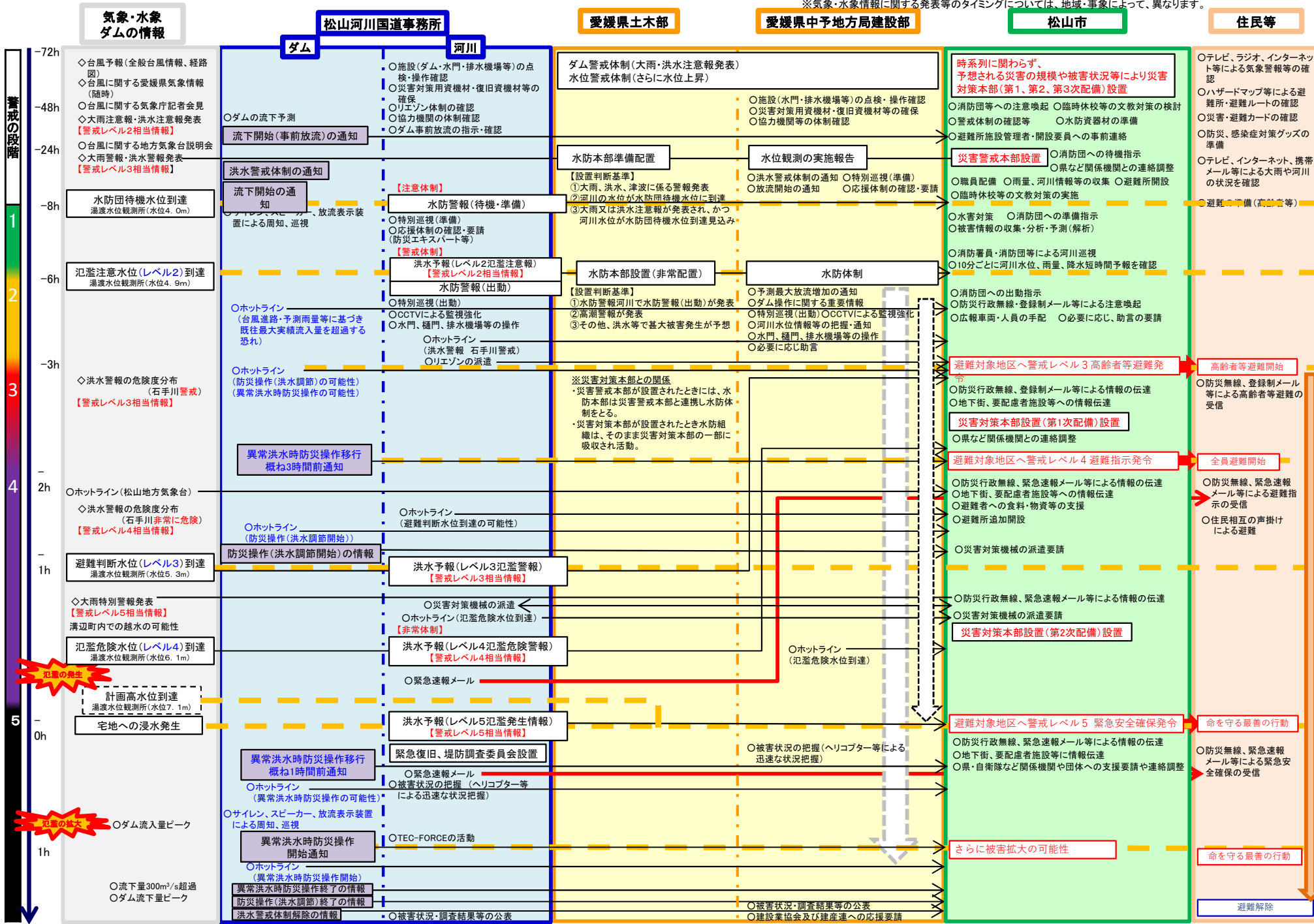
R8.5.8現在

※時間経過は基本方針の湯渡地点計画高水決定洪水ハイドログラフを参考。

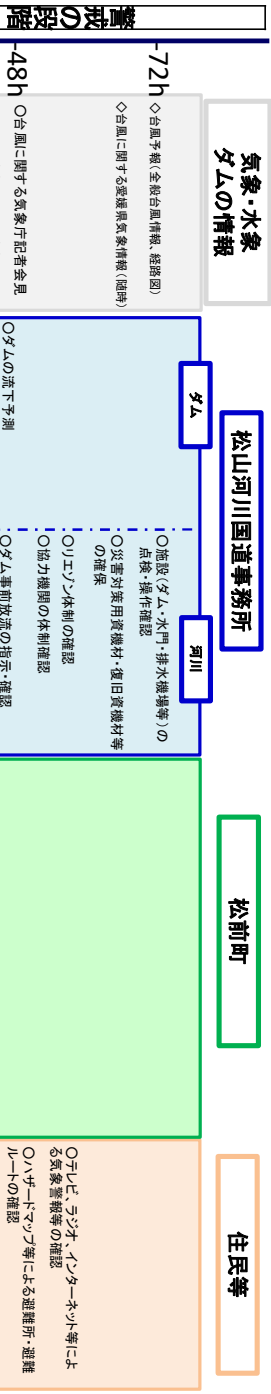
※このタイムラインは、行動の目安であり、災害の規模や被害状況等により、前後、または、変更する場合がある。



※このタイムラインは、行動の目安であり、災害の規模や被害状況等により、前後、または、変更する場合があります。
※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。



※このタイムラインは、行加目自守であり、災害の規模や被害想定等により、前後、手前は、変更する場合があります。
※気象・水象情報に関する発表等のタイムラインについては、地域・事象によって、異なります。



気象・水象 ダムの情報

松山河川国道事務所

松前町

住民等

-72h
○台風情報(全般台風情報、経路図)
○台風に関する留意事項(気象庁発表)

○施設(ダム・水門・排水機場等)の点検・操作確認
○災害対策用資機材・復旧資機材等の確保
○Jアラート体制の確認
○協力機関の体制確認
○ダム事前放流の指示・確認

○消防団等への注意喚起
○警戒体制の確認等
○臨時休校等の文書対策の要否
○消防団への待機指示
○県など関係機関との連絡調整
○臨時休校等の文書対策の要否

○テレビ、ラジオ、インターネットによる気象情報等の確認
○Jアラート等による避難所・避難ルートの確認
○防災、感染症対策グッズの準備
○災害、避難カードの確認
○自宅保全

-48h
○台風に関する気象庁記者会見
○大雨注意報・洪水注意報発表
【警戒レベル2相当情報】

○ダムの流下予測
流下開始(事前放流)の通知

○洪水警報(待機・準備)
水防警報(出動)

○職員配備
○雨量、河川情報の収集
○水害対策
○消防団への待機指示
○被害情報の収集・分析・予測(浸析)
○消防署員、消防団等による河川巡視
○0分ごとに河川水位、雨量、降水短時間予報を確認

○テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認

-24h
○大雨警報・洪水警報発表
【警戒レベル3相当情報】

洪水警報体制の通知
流下開始の通知

【警戒体制】
水防警報(待機・準備)
水防警報(出動)

○避難所開設準備
○消防団への出動指示
○防災行政無線・登録制メール等による注意喚起
○広報車両・人員の手配
○避難所開設
○必要に応じて、助言の要請

○避難の準備(高齢者等)

-7h
水防回復待機水位到達
出水水位観測所(水位2.0m)

○Jアラート、スピードカー、放流表示装置による周知・巡視

○特別巡視(準備)
○特別巡視の確認・要請
○防災支援チーム(防災エキスパート等)

○特別巡視(準備)
○特別巡視の確認・要請
○防災支援チーム(防災エキスパート等)

○テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認

-5h
冠水注意水位(レベル2)到達
出水水位観測所(水位3.0m)

【警戒体制】
水防警報(待機・準備)
水防警報(出動)

○特別巡視(出動)
○OOCVによる監視強化
○水門、樋門、排水機場等の操作
○漏水重点監視
○ホトトライン(避難判断水位到達の可能性)
○Jアラートの派遣

○避難所開設準備
○消防団への出動指示
○防災行政無線・登録制メール等による注意喚起
○広報車両・人員の手配
○避難所開設
○必要に応じて、助言の要請

○避難の準備(高齢者等)

-2h
洪水警報の危険度分布(重信川全域)
【警戒レベル3相当情報】
避難判断水位(レベル3)到達
出水水位観測所(水位4.6m)

洪水予報(レベル3冠水警報)
【警戒レベル3相当情報】

○漏水・浸食情報提供
○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○避難対象地区へ警戒レベル3 高齢者等避難発令

○高齢者等避難開始

-1h
冠水警報の危険度分布(重信川全域に危険)
【警戒レベル4相当情報】
ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

洪水予報(レベル4冠水警報)
【警戒レベル4相当情報】

○緊急連絡メール
○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○避難対象地区へ警戒レベル4 避難指示発令

○全員避難開始

○大雨特別警報発表
【警戒レベル5相当情報】
村高洪水危険到達
出水水位観測所(水位6.9m)

洪水予報(レベル5冠水警報)
【警戒レベル5相当情報】

○緊急連絡メール
○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○避難対象地区へ警戒レベル5 緊急安全確保発令

○命を守る最善の行動

○子淵雨量の増加
出水水位観測所(水位9.0m)

○緊急連絡メール
○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○緊急連絡メール
○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○宅地の浸水発生

○緊急連絡メール
○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○緊急連絡メール
○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達を2時間以内(予報)出水水位観測所(水位5.1m)

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○ホトトライン(避難判断水位到達)
○Jアラートの派遣

○命を守る最善の行動

○ホトトライン(松山地方気象台)
冠水危険水位(レベル4)到達又は冠水する可能性がある水位(6.69m)到達

各機関からの話題内容

1. 松山河川国道事務所

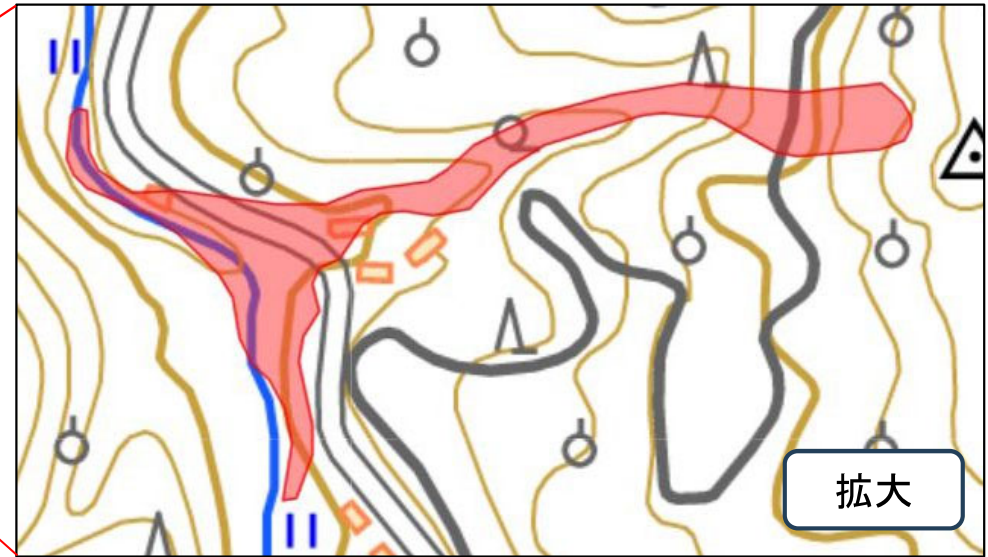
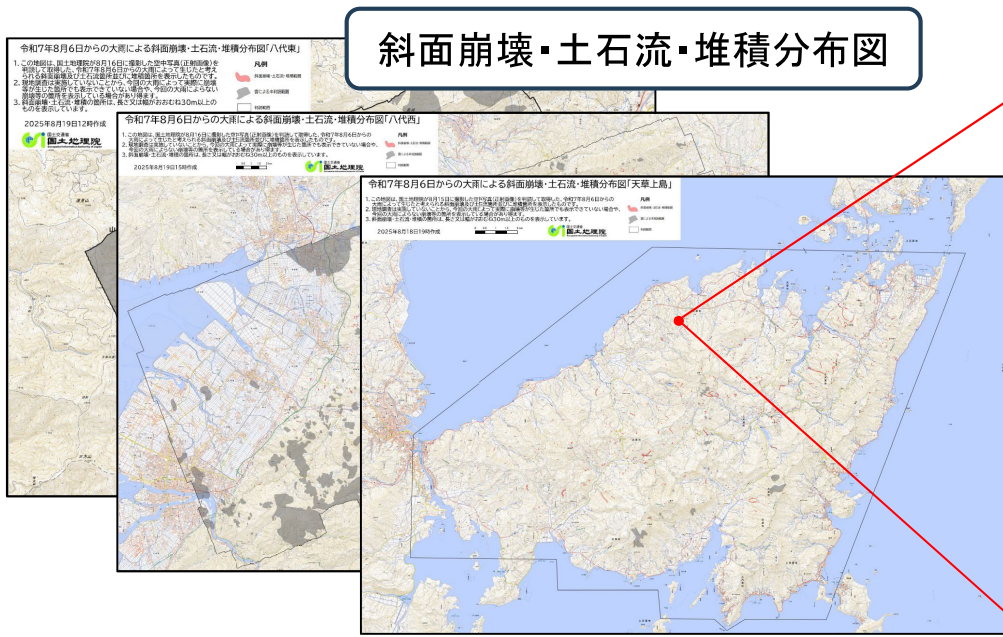
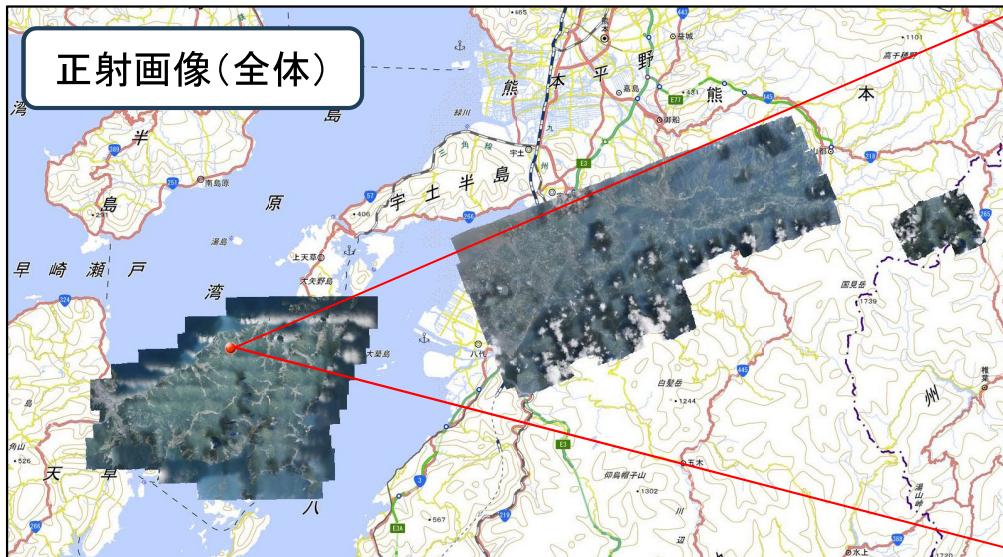
2. 国土地理院

3. 松山地方気象台

4. 河川情報センター

5. 水災害予報センター

○ 令和7年8月6日からの大雨では、国土地理院が撮影した空中写真から、「斜面崩壊・土石流・堆積分布図」を作成して関係機関に提供するとともにホームページ上に公開しました。



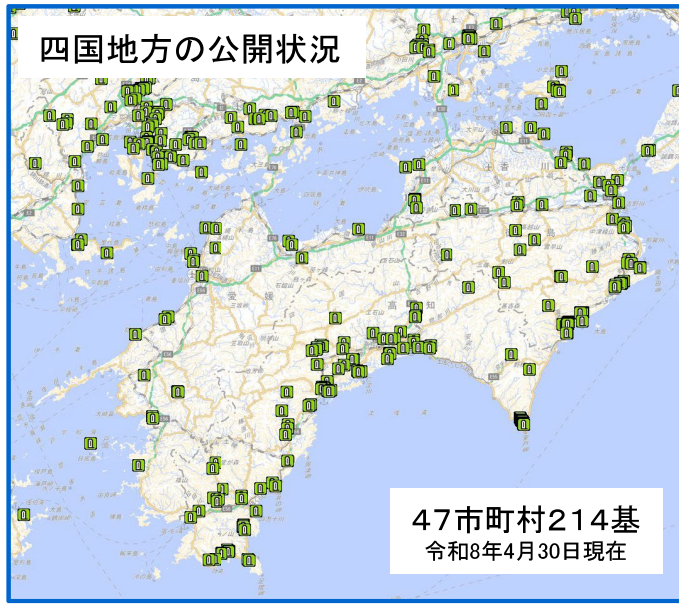
○ 過去に起きた津波や洪水などの自然災害の情報を伝える石碑やモニュメントを「自然災害伝承碑」として地理院地図などへ掲載することにより、自然災害の教訓を地域のみなさまに適切にお伝えし、先人の教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

防災基本計画

第2編第1章第3節国民の防災活動の促進

4 災害教訓の伝承

国及び地方公共団体は、過去に起こった大規模災害の教訓や災害文化を確実に後世に伝えていくため、（略）広く一般の人々が閲覧できるように地図情報その他の方法により公開に努めるものとする。また、災害に関する石碑やモニュメント等の**自然災害伝承碑**が持つ意味を正しく後世に伝えていくよう務めるものとする。




- 地理院地図
↓
「災害伝承・避難場所」
↓
「自然災害伝承碑」
↓
「災害区分」
↓
地図記号をクリック
↓
伝承碑画像をクリック
↓
碑名、災害名、伝承内容などが表示されます

概要	
碑名	水害復興記念碑
災害名	昭和18年台風 (1943年7月)
災害種別	洪水
建立年	1945
所在地	愛媛県伊予郡松前町大字中川原
伝承内容	昭和18年(1943)7月21日から24日にかけて、松山地方では台風により年平均雨量の5ヶ月分に相当する豪雨となった。23日午前9時に徳丸地区の堤防が決壊し、濁流が押し寄せた中川原地区は腰の上

自然災害伝承碑の掲載（令和7年度）

○ 令和7年度は、松山市様の協力を得て2件の自然災害伝承碑を登録しました。

災害復旧記念
 災害名: 昭和27年梅雨前線による大雨
 (1952年7月10日)




詳細説明は画像をクリック


災害復旧記念

概要	
碑名	災害復旧記念
災害名	昭和27年梅雨前線による大雨 (1952年7月10日)
災害種別	洪水
建立年	1958
所在地	愛媛県松山市菅沢町甲244-1
伝承内容	昭和27年(1952)7月10日夕刻から降り続いた豪雨により、上山地の土手決壊が発生した。菅沢町では、濁流により水田約10ヘクタールが押し流され、家屋3戸が流失、さらに当時6歳の女の子の命が奪われた。
制限事項	

ID:38201-005



供養塔
 災害名: 昭和27年梅雨前線による大雨
 (1952年7月10日)




詳細説明は画像をクリック

供養塔

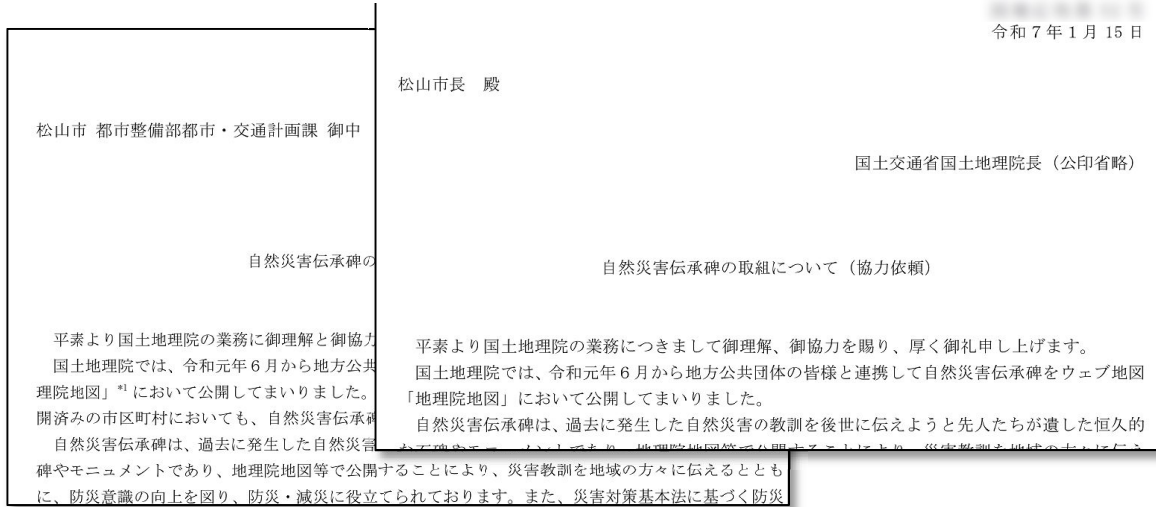
概要	
碑名	供養塔
災害名	昭和27年梅雨前線による大雨 (1952年7月10日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1953
所在地	愛媛県松山市高浜町一丁目乙60-290地先
伝承内容	昭和27年(1952)7月10日の集中豪雨により、高浜地区では山崩れが発生、9名の命が奪われた。この塔の背面には9名の氏名などが刻まれている。
制限事項	

ID:38201-006



○ 自然災害伝承碑について、新たな碑の地理院地図などへの掲載に向けた普及啓発や、四国地方測量部のホームページで防災教育における活用事例の紹介を行いました。

●掲載に向けた協力依頼の発出（令和7年1月15日）



●「令和7年度 四国防災トップセミナー」(令和8年1月21日開催)での普及啓発



●活用事例をホームページで紹介

四国地方の自然災害伝承碑の活用事例

- 高知県土佐清水地域の取組から

※全国の自然災害伝承碑の活用事例は、「[自然災害伝承碑の活用事例](#)」をご覧ください

地方公共団体のホームページにおける活用事例（リンク先のウェブサイトは、国土地理院のウェブサイトではありません）

- 愛媛県西予市【報告】自然災害伝承碑の登録

四国防災八十八話・普及啓発研究会との連携

四国防災八十八話・普及啓発研究会は「～先人の教訓に学ぶ～四国防災八十八話（企画・発行：国土交通省四国地方整備局）」に記載されている四国の災害に関する国土地理院四国地方測量部では、自然災害伝承碑の取組、地理院地図、防災情報情報の活用に関して、同研究会への助言を行うなどの協力を進めています。下記リンクから外部のウェブサイトに移動します（リンク先のウェブサイトは、国土地理院のウェブサイトではありません）

- 四国防災八十八話編纂部（四国防災八十八話・普及啓発研究会）
- 四国防災八十八話（徳島大学地理防災研究センター）
- 四国防災八十八話（愛媛大学防災情報研究センター）

【連携事例】イラストマップと地理院地図を活用した防災学習向け資料の検討

イラストマップと地理院地図を活用した防災学習向け資料
イラストマップ（四国防災八十八話マップ）と地理院地図を活用した防災学習向け資料の検討

- イラストマップと地理院地図を活用した防災学習向け資料（PDF形式、4MB）

令和7年2月
国土地理院 四国地方測量部

【連携事例】令和7年度 徳島県総合水防演習での防災クイズラリー

クイズラリーの用紙
四国地方測量部の展示ブースを訪れた小学生

2025年5月18日に、愛媛県で開催された徳島県総合水防演習。この初めての取組で、小学生などの見学者を増やすことができました。下記URLのとおり四国防災八十八話・普及啓発研究会の四国地方測量部から外部のウェブサイトに移動します（リンク先のウェブサイトは、国土地理院のウェブサイトではありません）

- R7.5/18 徳島県総合水防演習に参加してきました！（四国防災八十八話）

【連携事例】吉野川上流・高地蔵等の現地調査

現地調査用資料の一部
現地調査の風景 高地蔵の高さを測定しています

2024年9月11日に、徳島県の吉野川上流地域で、高地蔵等の四国防災八十八話・普及啓発研究会の香川大学客員研究員と連携して、現地調査を行いました。下記リンクから外部のウェブサイトに移動します（リンク先のウェブサイトは、国土地理院のウェブサイトではありません）

- 移転・移動を繰り返した角浦派しの高地蔵（東みよし町）
- 吉野川上流で最も高い崩れ屋敷の高地蔵（東みよし町）

「重ねるハザードマップ」のデータ更新

○ 国土交通省が運営するハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」において、指定緊急避難場所などのデータを更新しました。

指定緊急避難場所データを更新

市町村名	初回公開日	最終更新日
松山市	2017/2/22	2025/12/26
伊予市	2017/2/22	2026/1/7
東温市	2017/2/22	2026/2/2
松前町	2017/2/22	2025/1/23
砥部町	2017/2/22	2025/10/9

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

重ねるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べる~

例: 茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

選択中の情報

- 災害種別で選択
 - 洪水・内水
 - 土砂災害
 - 高潮
 - 津波
 - 道路防災情報
 - 地形分類
- 掲載データに関する留意事項
 - すべての情報から選択
- 表示
 - 指定緊急避難場所
 - 指定緊急避難場所
 - 災害リスク情報・洪水浸水想定区域
 - 災害リスク情報・土砂災害警戒区域等
 - 土砂災害

愛媛県松山市一番町四丁目

この付近では、最悪の場合、洪水による浸水が発生してその深さが50センチメートルから3メートルになることが想定されています。これは床上浸水に相当する深さです。水害発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ早期に避難することが必要です。浸水が解消するまで我慢でき、水や食料などの備えが十分であれば2階以上の屋内で安全を確保することも可能です。避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

この付近では、土砂災害（急傾斜地の崩壊）が発生した場合、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがある場所です。大雨警報や土砂災害警戒情報が発表されるなど、土砂災害発生のおそれが高まっている場合には安全な場所へ早期に立退き避難することが必要です。避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

松山市のハザードマップを見る

選択した地点とその周辺で最も危険な災害リスク情報を表示しています。また、掲載情報は今後更新される可能性があります。詳細は注意事項をご確認ください。

住所検索に戻る ホームへ戻る

ハザードマップポータルサイト
身のまわりの災害リスクを調べる

使い方 よくある質問 利用規約/オープンデータ配信▼

身のまわりの災害リスクを調べる

重ねるハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

地域のハザードマップを閲覧する

わがまちハザードマップ

市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップへリンクします。

住所から探す 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます

例: 茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

現在地から探す

現在地から探す

新機能（災害リスク情報のテキスト表示）について

地図から探す

地図を見る

災害の種類から選ぶ

- 洪水
- 土砂災害
- 高潮
- 津波

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 (代表電話) 03-5253-8111
国土地理院 応用地理部 地理情報処理課 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 (代表電話) 029-864-1111

Copyright (C) Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism of Japan.

サイトの新機能として、地点の災害リスク情報がわかりやすく表示できるようになりました。

各機関からの話題内容

1. 松山河川国道事務所
2. 国土地理院
3. 松山地方気象台
4. 河川情報センター
5. 水災害予報センター

令和8年より 気象の警報などが 大きく変わります

情報名称などが大きく変わるため、
防災計画等の点検や見直しをお願いします。

防災気象情報
いつ逃げる？
レベルで判断！

避難の判断がよりしやすくなる

【一覧表】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			



警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】

(旧) 「大雨警報」

→ (新) 「レベル3大雨警報」

警戒レベル3（高齢者等避難）に相当



河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】

(旧) 「洪水警報」

→ 【洪水予報河川※】

(新) 「レベル3氾濫警報」

→ 【洪水予報河川以外の河川】 (新) 「レベル3大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。
※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川



「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】

(旧) 「土砂災害警戒情報」

→ (新) 「レベル4土砂災害危険警報」



線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】

(旧) 「顕著な大雨に関する気象情報」

→ (新) 「気象防災速報（線状降水帯発生）」

(旧) 「記録的短時間大雨情報」

→ (新) 「気象防災速報（記録的短時間大雨）」



〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9
電話：03-6758-3900
FAX：03-3434-9086（耳の不自由な方向け）



詳しくはこちら

避難のタイミングは レベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか、
レベルごとにチェック！



時間推移のイメージ

数日～
1日前

レベル1 早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

半日～
数時間前

レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

数時間～
3時間前

レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難

2時間～
0時間前

レベル4 危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

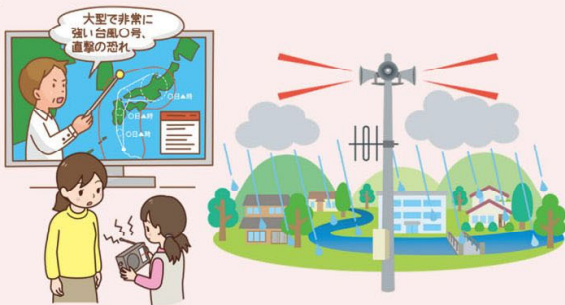
災害
発生

レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

災害の情報、 どう受け取る？

警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。



このあとどうなる？ をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。



キキクル 特急

▼キキクル画面イメージ 10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）

00市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）		2025年XX月XX日(11:00)発表												A01	備考・留意する点												
00市	00市	00時	01時	02時	03時	04時	05時	06時	07時	08時	09時	10時	11時			12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時
1時間最大雨量...		10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0
24時間最大雨量...		10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	105.0	110.0	115.0	120.0	125.0	130.0	135.0
大雨																											
土砂災害																											
高潮	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

防災気象情報の改善について

現在の主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

- **警戒レベル**は、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、**避難情報等を5段階に整理**したものです。（例：警戒レベル4 = 避難指示、警戒レベル3 = 高齢者等避難）
- **防災気象情報**は、**避難情報の発令や住民の自主避難の参考となる「警戒レベル相当情報」**という位置づけですが、警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があります。

警戒レベル				現在の防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	防災気象情報				
				洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
			指定河川洪水予報（河川毎）	洪水害（市町村毎）	大雨浸水害（市町村毎）			
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（浸水害）	大雨特別警報（土砂災害）	高潮特別警報
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報		土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報（土砂災害）	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報	2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当				

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

新しい防災気象情報（令和8年5月下旬から運用開始予定）

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

河川氾濫・大雨に関する情報

- 河川氾濫等に関する情報は、**洪水予報河川のみを対象とした河川ごとの情報とし、「レベル3 氾濫警報」等の名称で発表します。**これまでの気象台による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行いません。
- **水位周知河川の氾濫危険情報等のレベル毎の水位の情報は、警戒レベルとの関係を含めてこれまで通りの運用とし、洪水予報河川への移行を促進します。**
- 浸水害を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけます。**洪水予報河川以外の河川も、大雨に関する情報で一緒に扱います。**

河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

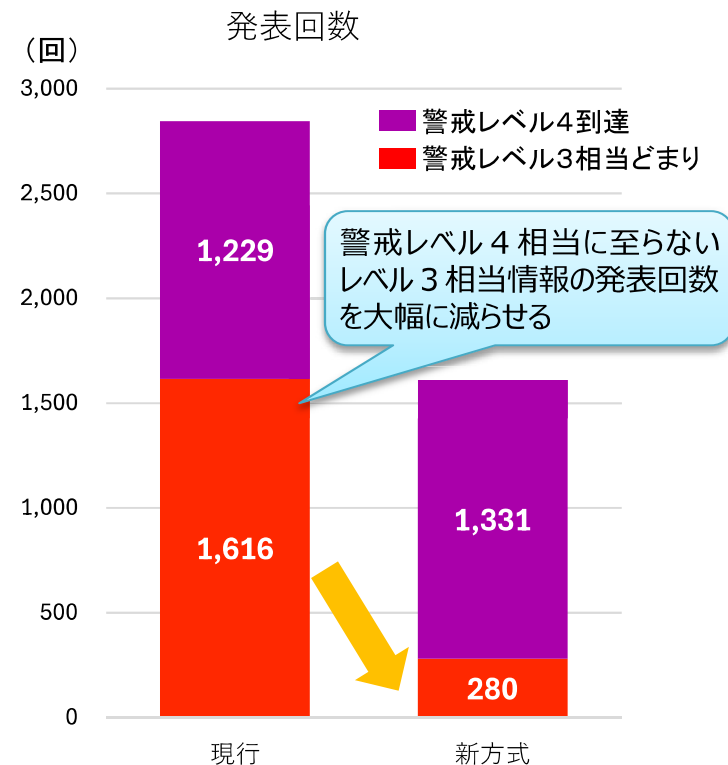
河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む 洪水警報等	
河川数	約400河川	河川事務所・都道府県による水位情報は、これまでどおり発表することとし、警戒レベルとの関係は変更しない。	大雨に関する情報で扱う。	-
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台			気象台
発表単位	河川ごと			市町村ごと
対象とする主な現象	外水氾濫			内水氾濫及び 洪水予報河川以外の外水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）			表面雨量指数・流域雨量指数 （解析・予測）
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	
	4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	
	3	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	
	1	早期注意情報	早期注意情報	
		〔 洪水予報河川への移行を促進 〕		

土砂災害に関する情報

- 警戒レベル4相当は、現在の土砂災害警戒情報から**レベル4土砂災害危険警報**に変更します。
- **レベル3土砂災害警報**は、発表基準を見直すことで、現在の大雨警報（土砂災害）に比べ、警戒レベル4相当に至らない**情報発表を大幅に減らします**。
- 今後は、**まもなくレベル4土砂災害危険警報を発表する可能性が高い**状況において、レベル3土砂災害警報を発表しますので、情報を活用いただくにあたりご留意ください。

土砂災害に関する情報体系と名称

発表指標		60分雨量（解析・予測） 土壌雨量指数（解析・予測）
情報名称	5	レベル5土砂災害特別警報
	4	レベル4土砂災害危険警報
	3	レベル3土砂災害警報
	2	レベル2土砂災害注意報
	1	早期注意情報



土砂災害に関する警戒レベル3相当及び4相当情報の発表回数の比較（令和5年6～9月のデータに基づく）

新方式の警戒レベル3相当情報の発表回数は、レベル4相当情報の基準（CL）に3時間先に到達すると見込まれる場合として算出。

高潮に関する情報

- 国土交通大臣が指定する海岸（**高潮予報海岸**）では、国土交通省・気象台・都道府県が共同で、「**波の打上げ高**」を加味した、より精度の高い高潮の予報・警報を実施します。
- **レベル5 高潮特別警報は、氾濫が発生または切迫している場合に発表します。**（台風等を要因とした高潮特別警報から移行）
- レベル4 高潮危険警報、レベル3 高潮警報、レベル2 高潮注意報は、浸水被害のおそれがある状況から**リードタイム**をとって発表します。

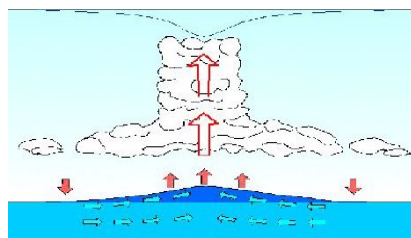
高潮に関する情報体系と名称

分類	高潮予報海岸	その他の海岸
発表主体	国土交通省・気象台・都道府県	気象台
発表指標	波による打上げ高を考慮した水位・潮位	潮位
情報名称	5	レベル5 高潮特別警報
	4	レベル4 高潮危険警報
	3	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 高潮注意報
	1	早期注意情報

■ 現在の高潮予報・警報

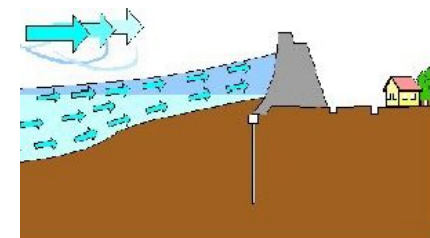
【吸い上げ】

気圧低下による潮位上昇



【吹き寄せ】

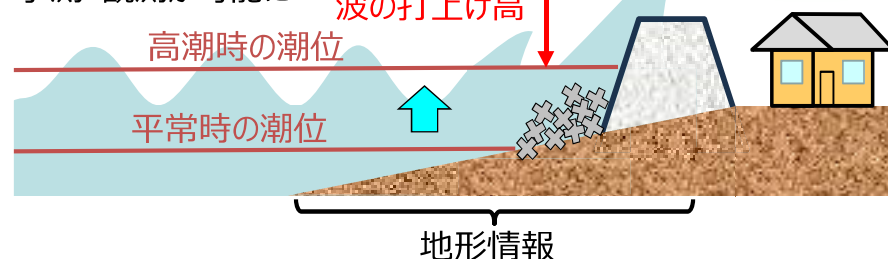
海岸に吹く風による潮位上昇



気象庁

■ 波の打上げ高を予報・警報に反映

- 波の打上げ高予測モデルや観測技術の開発により、波の打上げ高の予測・観測が可能に



国土交通省

都道府県

警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わりません。
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、警戒レベルには相当しないことに留意してください。

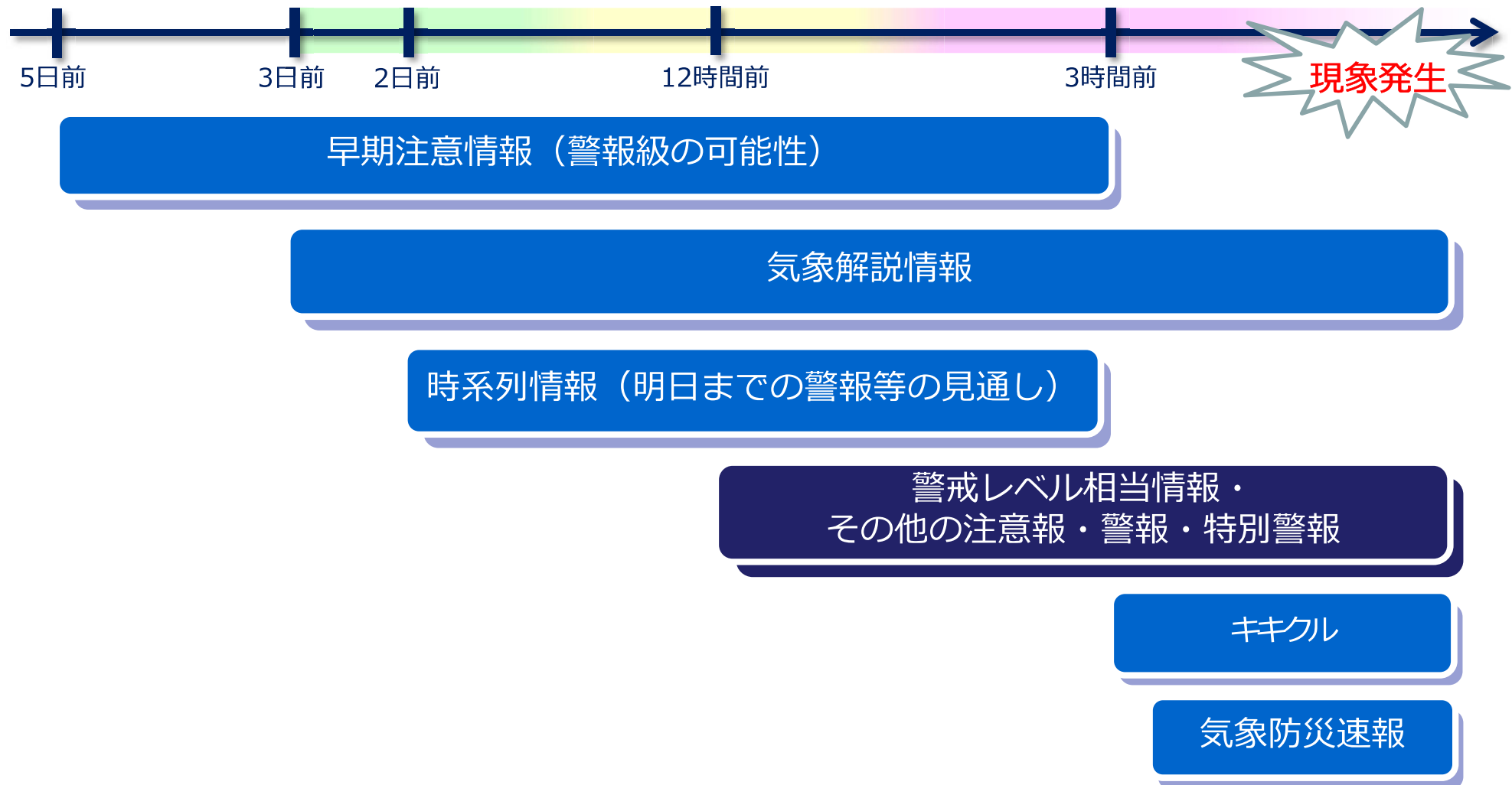
警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください。

段階的に発表される防災気象情報

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
 - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
 - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。



早期注意情報・時系列情報

- 早期注意情報（警戒レベル1）は、**5日先までの警報級の現象の可能性**を発表
- 時系列情報は、警報・注意報に先立って、**翌日までの気象状況の見通し**を、毎日4回発表





早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日				3日		4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-

明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

時系列情報（明日までの警報等の見通し）

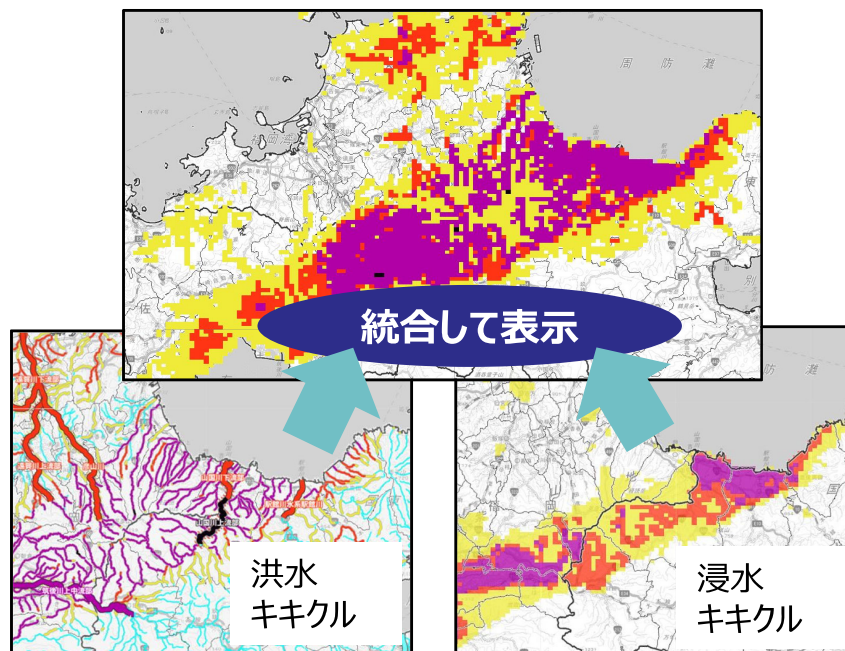
〇〇市	地域	28日				29日								備考・関連する現象	
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1時間最大雨量(mm)				10	30	50	50	30	20	10					
24時間最大雨量(mm)		200													
大雨															
土砂災害															
暴風(m/s)	陸上	5	10	15	25	25	25	25	25	25	25	15	5		
	海上	10	15	25	30	30	30	30	30	30	20	10			
6時間最大降雪量(cm)															
24時間最大降雪量(cm)															
大雪															
波浪(m)		2	4	6	8	8	8	8	8	8	5	2			
高潮	潮位(m)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.5	1.0	0.5			
霧															
融雪	陸上														
凍結	海上														
着氷															
着雪															
乾燥	実効湿度(h)		80						90				70		
	最小湿度(h)		80						90				70		
なだれ															
低溫															
霜															

 災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
 危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
 警戒	警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
 注意	注意報基準を超えると予想される時間帯 (高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

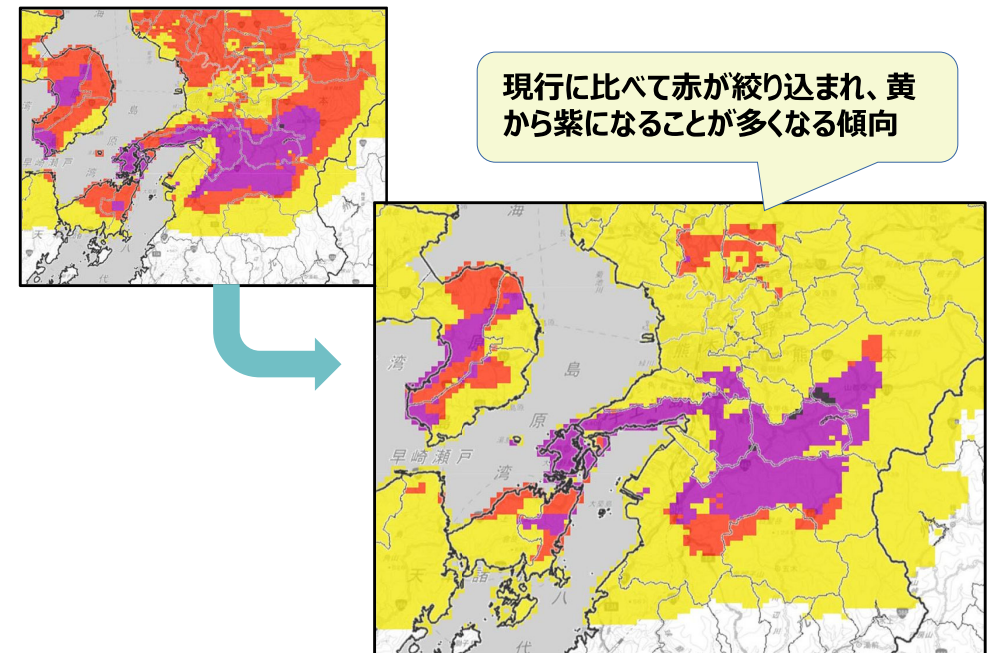
キキクル

- 大雨や土砂災害に関する情報が発表された際、**危険度が高まっている地域を確認**するにはキキクルを活用してください。
- 「**大雨キキクル**」は、**大河川以外の河川の氾濫と浸水の危険度を重ねて表示**するもので、大雨に関する情報に対応しています。
- 「**土砂キキクル**」は、土砂災害の危険度を表示するものです。表示方法は従来と変わりませんが、以下の特性の変化に留意が必要です。
 - 現行に比べ、警戒（赤色）の判定が狭く、**注意（黄色）から危険（紫色）のケースが多くなります。**
 - 4～6時間先に警戒レベル4相当の基準に達すると予想してレベル3土砂災害警報を発表した場合には、**警戒（赤色）の判定が出ていないことがあります。**

大雨キキクル（イメージ）



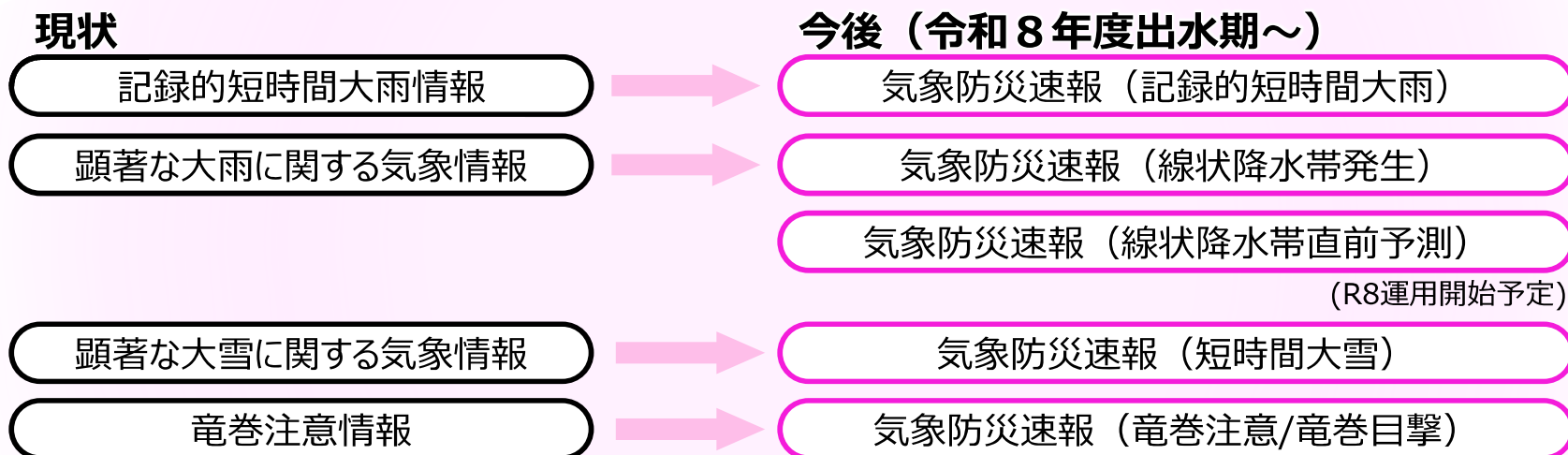
土砂キキクルの特性変化（イメージ）



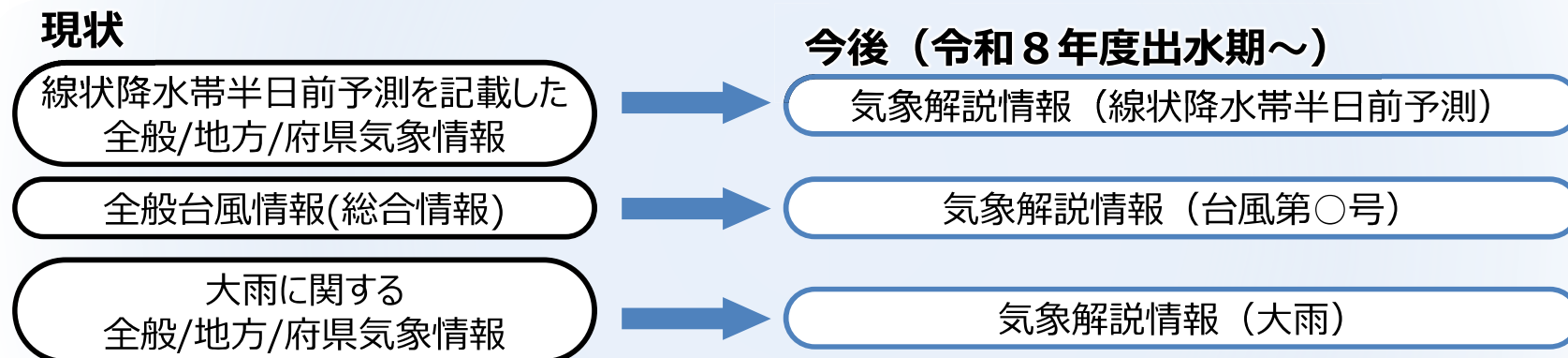
気象庁HPでは現行の洪水キキクルと浸水キキクルも切り替えて閲覧可能

- 警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表します。**
- 現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に解説する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。

気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)



気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)



各機関からの話題内容

1. 松山河川国道事務所
2. 国土地理院
3. 松山地方気象台
4. 河川情報センター
5. 水災害予報センター



河川情報センターによる
河川・流域情報、危機管理に関する情報
の提供について



河川情報センター 事業概要

生活の安全・安心を確保するために必要な河川・流域情報を「川の防災情報」を通じて適確に提供するとともに、住民、防災関係機関等が必要な災害危機管理等の情報の提供に努めます。そのため、利用者の視点に立ち、以下の事業を実施します。

- 災害時の避難行動や緊急活動に不可欠な河川・流域情報の適確なリアルタイム提供
- 住民自らの適確な逃げ時の判断や防災関係機関が適確な災害対応・判断ができるような情報提供
- 災害時の判断・行動を住民自ら考えるマイ・タイムライン等の普及等
- 洪水予測システムの精度向上、雨量・河川水位・流量等の観測技術の高度化及び危機管理研修 等

1) 河川・流域情報提供事業

(1) 情報提供業務

- 河川情報の適確なリアルタイム提供と精度監視

川の防災情報/リアルタイム情報提供・精度監視/警報発表支援システムの構築・運用 等

(2) データ管理・利活用促進業務

水文観測技術の向上、デジタル水防ツールを活用した流域の水防災力向上

2) 危機管理・流域情報提供事業

(1) 危機管理業務

(2) 流域情報提供業務

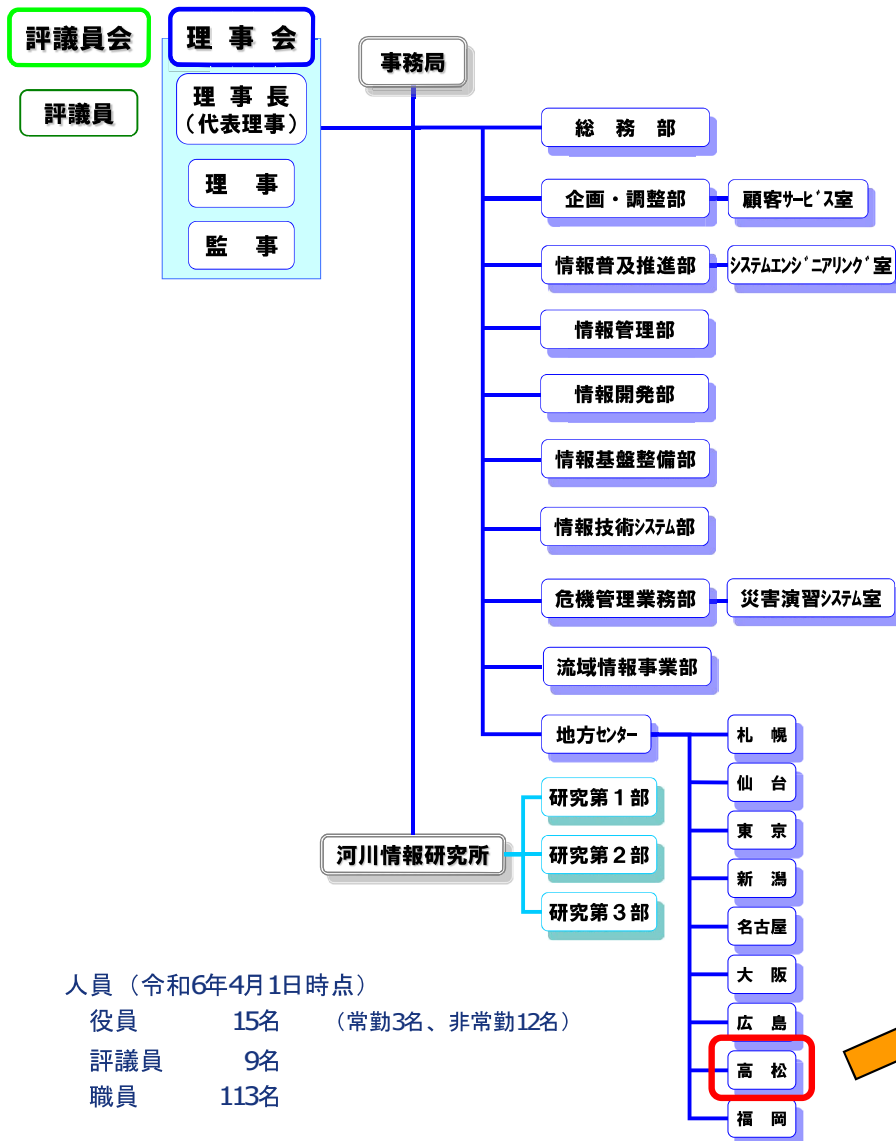
- 水害ジブンゴト化に向けた多角的な取り組み マイ・タイムラインの全国展開
- 浸水センサを活用したリアルタイム浸水状況把握 等

3) 河川・流域情報普及支援事業

- 研修及び普及・啓発事業: 災害危機管理研修 等

河川情報センター 概要

組織図



人員 (令和6年4月1日時点)

役員 15名 (常勤3名、非常勤12名)
 評議員 9名
 職員 113名



一般財団法人河川情報センター

FRICS: FOUNDATION OF RIVER & BASIN INTEGRATED COMMUNICATIONS, JAPAN

〒102-8474

東京都千代田区麴町1丁目3番地

(ニッセイ半蔵門ビル 2F(受付), 4F, 5F)

TEL 03-3239-8171(代) FAX 03-3239-2434

高松センター

〒760-0023

高松市寿町2丁目3番11号 高松丸田ビル9F

TEL 087-851-9911(代) FAX 087-851-9929

川の防災情報

<https://www.rivergo.jp/>

- 川の防災情報は全国の河川水位や降雨等のリアルタイム情報をインターネットを通じて一般住民等に常時提供。
- 令和5年6月、台風に刺激された梅雨前線により全国各地で豪雨となり、6月2日16時に過去最大の約317万PV/時のアクセスがあったが、対策効果を発揮し円滑に情報提供。

観測データ



河川情報提供システム

データ収集
全国の観測所から送られてくる観測データを収集

加工・編集
表やグラフ、地図、図面等に加工・編集

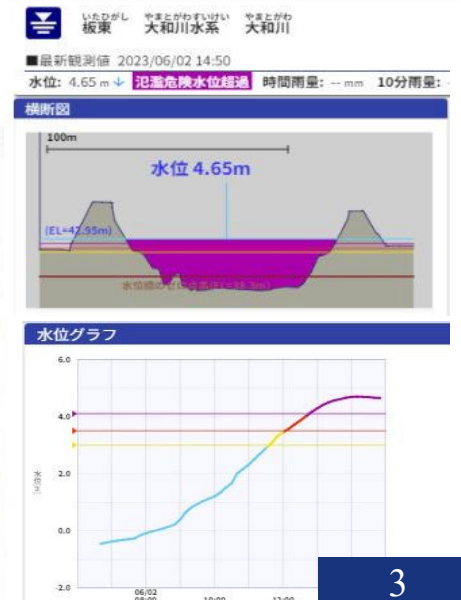
提供・蓄積
ユーザーに提供するとともに、データを蓄積

情報利用者

- ・住民
- ・市町村
- ・河川管理者
- ・報道関係者等



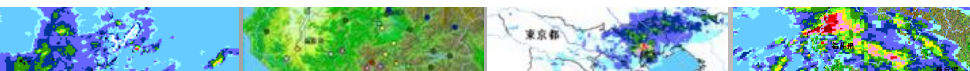
大和川水系大和川 板東(奈良県)



川の防災情報 対象ユーザーとシステム

河川管理者(国交省・都道府県職員)、**水防管理者(市町村職員等)**、**一般住民**、それぞれのユーザーに対して、異なるシステムと役割で河川情報を提供する。

対象ユーザー	システム名	システムの持つ役割
<p>水防管理者</p>	<p>市町村向け「川の防災情報」 > ID・PASSが必要。 (国・市町村他水防関係の希望した機関の河川管理者へ配布。) > インターネット回線にて閲覧可能。</p>	<p>> 水防管理者として必要な情報の収集と一般への避難勧告、避難指示を行うための支援 > 一般向けに配信されていない項目のデータが配信されている。(排水機場・樋門、堰など)</p>
<p>一般住民</p>	<p>一般向け「川の防災情報」 > インターネット回線にて閲覧可能</p>	<p>> 住民の河川情報収集及び迅速な避難のための支援 > 危機管理型水位計や簡易カメラの情報も同じ画面上で閲覧できる。</p>



川の防災情報 各システムの情報提供項目

➤市町村向け川の防災情報・・・迅速的確な判断をするため、一般向けより詳細情報が閲覧できる。
(排水機場・樋門、堰諸量等)

➤一般向け川の防災情報・・・危機管理型水位計や簡易カメラの情報も同じ地図上で確認できる。

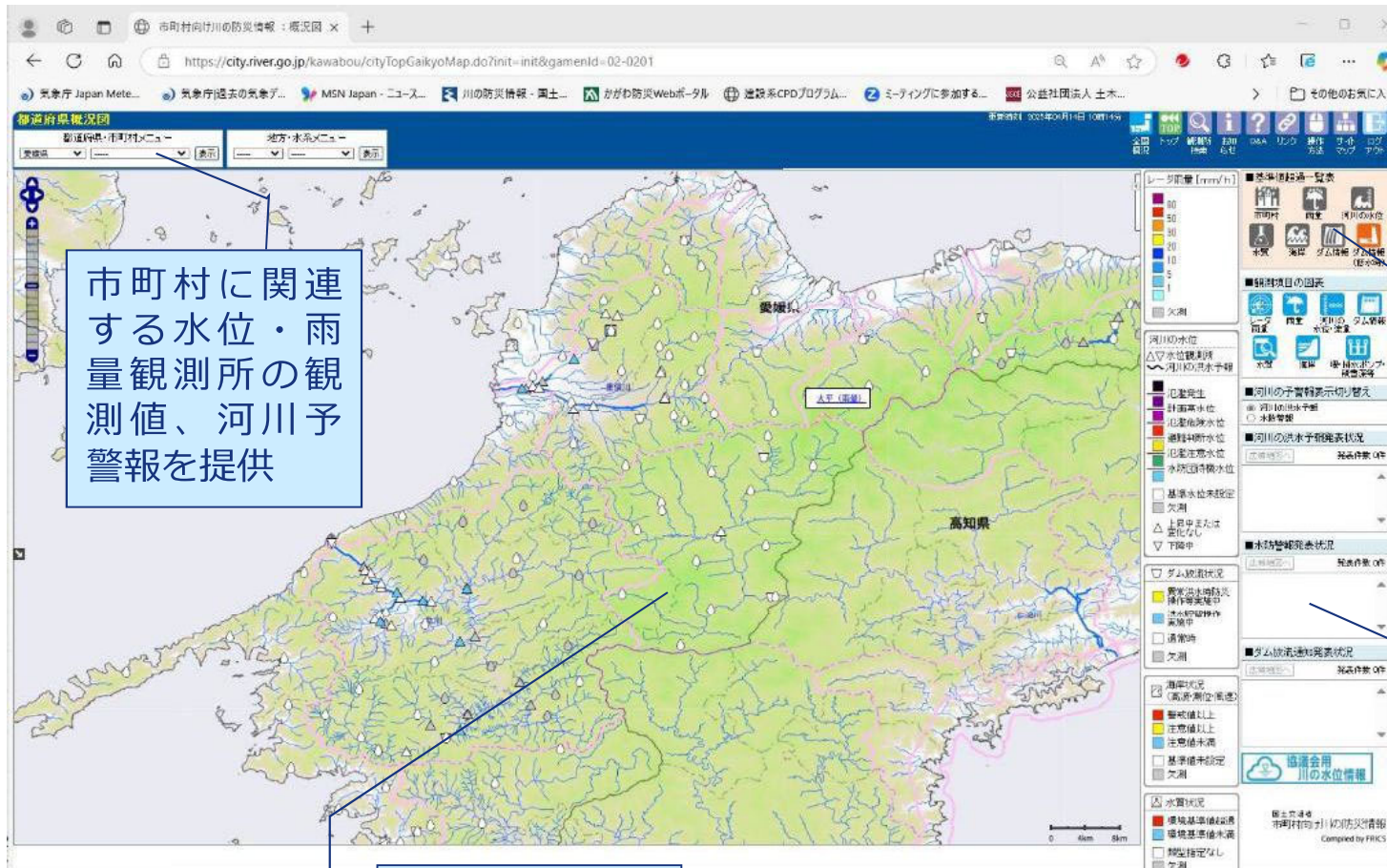
	Cバンドレーダ				Xバンドレーダ		テレメータ													予警報			気象情報												
	国交省		気象庁		統合プロダクト	流域平均・大流域	流域平均・小流域	国交省		雨量				積雪	水位		流量	水質	ダム諸量	堰諸量	排水機場諸量	海岸	気象	超過一覽	水防警報	洪水予報	ダム放流通知	水位周知河川情報	警報・注意報	天気図(実況・予想)	気象衛星画像	台風情報	地震情報(気象庁)	地震情報(国交省)	津波情報
	現況	累加	履歴	予測(移動解析)				現況	履歴	予測※	河川局	道路局	気象庁		都道府県	他所管																			
	降水ナウキャスト	降水短時間予報	現況	履歴	予測※	河川局	道路局	気象庁	都道府県	他所管	流域平均	河川局	都道府県	危機管理型水位計	実況	予測	ダム諸量	堰諸量	排水機場諸量	海岸	気象	超過一覽	水防警報	洪水予報	ダム放流通知	水位周知河川情報	警報・注意報	天気図(実況・予想)	気象衛星画像	台風情報	地震情報(気象庁)	地震情報(国交省)	津波情報		
固定端末版	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	市町村向け	一般向け(PC・スマートフォン)	
	○	△	○	○	△	○	○	△	△	○	○	○	○	△	△	○	□	○	○	□	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○		○																																

※固定端末の市町村向け□マーク(水位/河川局/予測)は、限定した市町村が予測水位を閲覧できることを表している
 ※固定端末の市町村向け△マークは、詳細メニューから閲覧できることを表している
 ※予測情報は国土交通省のみ配信
 市町村向けシステムの主たるユーザー→市町村(水防管理者)及び都道府県
 一般向けシステムの主たるユーザー→一般市民全般

I.市町村向け「川の防災情報」

市町村等の水防管理者に対し、水害の危険性について迅速・的確な判断を可能にするためのシステム

- ・水防管理者として専用のトップページを提供
- ・必要な情報への迅速なアクセスが可能な画面遷移構造
- ・河川管理者と同等の情報閲覧可能



「詳細メニュー」では、河川管理者と同等の情報閲覧できる

現在発令されている河川予警報を一覧表示

市町村に関連する水位・雨量観測所の観測値、河川予警報を提供

市町村の周辺の水位、レーダ雨量の概況を地図上に表示

Ⅱ.一般向け「川の防災情報(並べてみる)」

国土交通省 川の防災情報 “気象”×“水害・土砂災害” 情報マルチモニタ

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄 未登録 地点登録

“気象”×“水害・土砂災害”
情報マルチモニタ

新着情報

全国の状況

気象・土砂災害

気象警報・注意報のほか、レーダ雨量(XRAIN)・河川カメラ等の情報を確認できる。

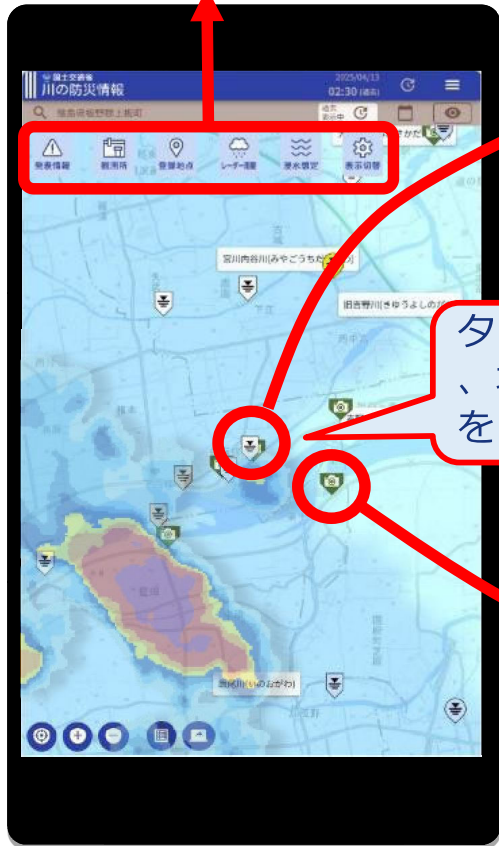
クリック

気象庁 気象警報・注意報

※「気象警報・注意報、土砂災害警戒情報」「洪水キキル(危険度分布)」「土砂キキル(危険度分布)」は気象庁ウェブサイト
 ※「川の水位情報」は危機管理型水位計運用協議会が運用するホームページへリンクしています。
 ※「アラート」は、市町村等が発令した避難指示などの災害関連情報を、一般財団法人マルチメディア振興センターが収集、メディア掲載の情報には、無人観測所から送られてくるデータを観測後直ちに表示しているものが含まれており、機器故障等による異常値や他の水位情報、気象情報も併せて確認してください。

Ⅲ.川の防災情報(スマートフォンで表示)

発表情報: 洪水予警報・ダム放流情報
 観測所: 見たい観測所を検索
 登録地点: 登録した位置に画面移動
 レーダー雨量: 雨域の移動履歴を確認
 など



スマートフォン閲覧画面

タップすることで、地図上の観測所を閲覧可能。

1タッチで上下流の観測所へ画面移動可能。



河川状況カメラ画像

デジタル水防システムとは...

OLINEを活用し、ワンタッチで当該地域の河川情報や避難情報を取得できたり、団員が撮影した写真や今いる現在地を水防マップに容易に登録できるシステム
○できるだけ、操作性が用意になるように配慮し設計

①水防活動時の情報共有に関する問題点

- 参集・活動時の情報伝達手段に電話・無線を用いている団が多く、各種の情報共有に苦慮。
- 水防活動に役立つ情報は、気象情報や洪水に関する情報、避難に関する情報など多岐に渡る。それらの情報を取得するためのウェブサイトが多すぎてわかりにくく、地域の情報を閲覧するのに手間がかかる。
- 電話や無線などの音声だけでは現場状況が伝わらない。
- 現場にいる団員の正確な居場所が分からない。

②問題点解決に向け、本システムのプロトタイプを（一財）河川情報センターが開発

③愛媛県大洲市・西予市・内子町、各市町の消防団、大洲河川国道事務所四国地方整備局とともに意見交換・操作体験を実施しながら改良し、「デジタル水防システム」が完成。



操作体験会の様子

デジタル水防システムの機能と画面。

デジタル水防の機能

- ① LINEの活用による**情報の一斉共有**
LINEのリッチメニューを活用することで、各種情報の共有を団員全員で可能
- ② 洪水時に役立つ**情報をワンタッチで取得可能**
地域の河川水位や河川ライブカメラ情報、気象情報、避難情報をワンプッシュで取得
- ③ 水防現場の**画像や動画をその場で地図上に登録し共有**
音声や位置情報が不明な写真等の不明確な現場情報を地図上でやりとりし、団員同志で共有
- ④ **団員の居場所やコメントを地図上で共有**
団員がどこに今いるのかを地図上で共有することで、効率的な水防活動の実施と団員の安否確認が可能

デジタル水防の画面

地域に特化した洪水時に役立つ情報をワンタッチで取得可

地図上で現場状況を共有可能

現地写真

団員の居場所

リッチメニュー

まずはここから名前登録

河川情報	避難情報	気象情報
水防マップ	位置情報送信	写真・動画送信
		コメント送信

投稿者：[ユーザー名]
日付：2024/12/01 10:13:38
危険度ランク：低
コメント：水防活動中

デジタル水防システムの便利機能。

●新着通知機能

- ・写真・動画・コメント投稿があれば、登録されてた団員全員に投稿内容を通知する機能

●水防マップ

- ・団員の所在地や投稿写真を地図に投影し、誰でも見れるマップ



●位置情報送信

- ・団員の今いる場所を位置情報を付与して、「水防マップ」に投影する機能

●写真・動画送信

- ・団員が写真位置情報を付与して、写真・動画を投稿できる機能

大洲市水防団 (テスト版)

昨日

大洲市水防団 (テスト版) です。機能を使用する前に、メニュー1から名前登録を行きましょう。

17:57

水防マップへの新規投稿

1件の新規投稿がありました。

- 投稿者：テスト
- 種類：コメント

水防マップで確認する

17:49

まずはここから名前登録

河川情報	避難情報	気象情報
水防マップ	位置情報送信	写真・動画送信
		コメント送信

●避難情報

- ・ワンプッシュで発令中の避難情報や避難所開設情報が閲覧可能 (川の防災情報)



●気象情報

- ・地域の気象情報へ直接アクセス

●コメント送信

- ・写真・動画投稿に付与できるコメントを送信 (ボタンでの選択)

コメントを選択 (手順 4/4)

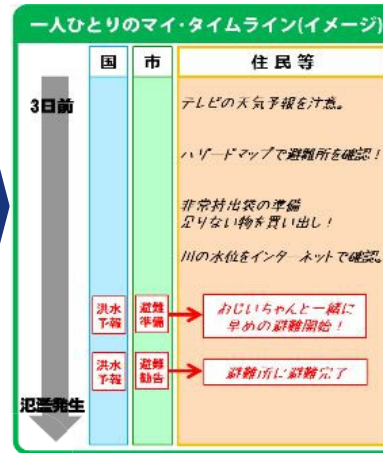
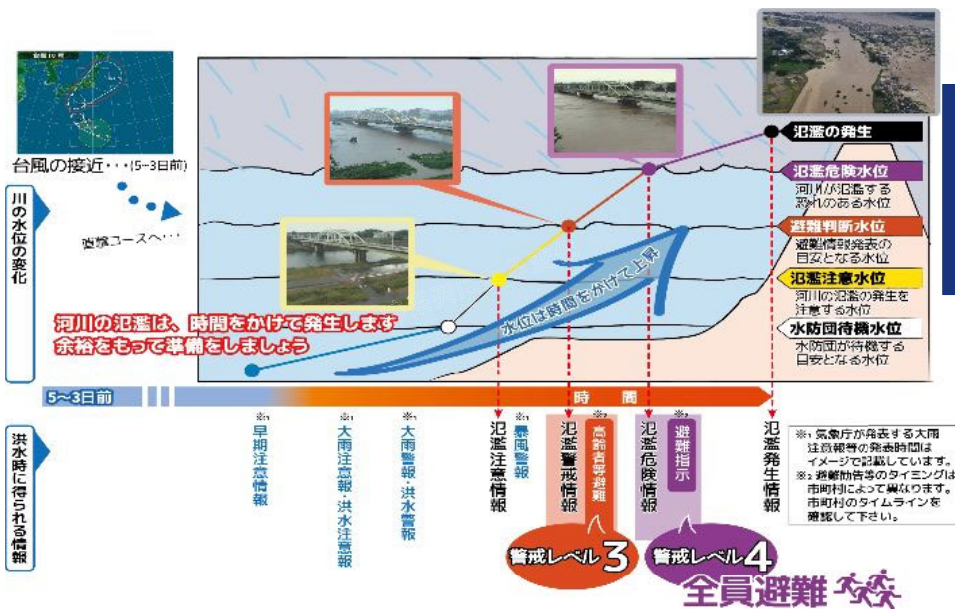
写真につけるコメントを選択してください。

- 水位上昇中
- 浸水発生
- 土砂災害発生
- 通行不可能
- 水防活動中

マイ・タイムラインとは

台風の接近等によって、河川水位が上昇する時に、住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」・「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画

● 河川の水位変化と洪水時に得られる情報とマイ・タイムラインの作成



マイ・タイムラインの検討の過程で...

「リスクを認識」

- 自分の家が浸水してしまう
- 避難所まで遠い 等

「逃げるタイミングがわかる」

- いつ逃げる?
- 誰と逃げる?
- 危険な場所をよけて

「コミュニケーションの輪が広がる」

- 意見交換などで、知り合いになれる 等

マイ・タイムラインができると...

- 災害時の防災行動チェックリストで対応の漏れを防止
- 災害時の判断をサポート

逃げ遅れゼロ

● 作成の状況 ※避難の実効性を高める「住民自らが手を動かす取組」が重要



● 参加者の主な意見等 ※各地で取り組まれている事例からの抜粋

- 避難するために、どのような情報が必要で何を基準にして避難するかが少し理解できました。
- 避難先に関する選定が難しく感じた。
- 情報入手と早く行動することや家族と話し合い自助・共助・公助等、勉強になりました。
- 個人での対応にも限界があり、地区での共助もあらかじめ決めることも大事。

住民参加型の取組により、住民の「水防災意識の高揚」や「水防災知識の向上」、さらに「地域の絆の強化」に寄与

マイ・タイムライン作成講習会 事例

徳島県鳴門市マイ・タイムライン講習会

対象地域：徳島県鳴門市全域
 主催：国土交通省徳島河川国道事務所、鳴門市
 実施日時：令和7年2月7日（金） 13:30～16:00
 実施場所：鳴門市役所
 講師：流域治水アンバサダー、気象キャスター 服部由佳
 参加者：59名
 主な対象河川：吉野川・旧吉野川・新池川



講師：服部 由佳



鳴門市HM

◆ 実施状況



マイ・タイムライン作成 講師



マイ・タイムライン作成 まとめ



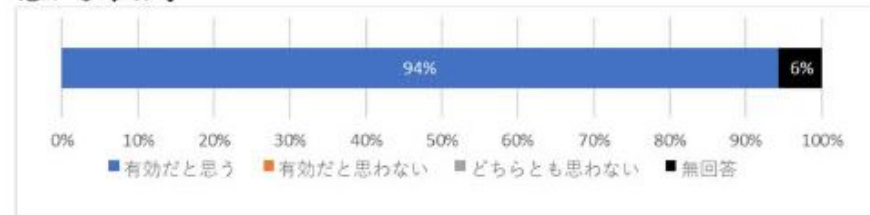
マイ・タイムライン作成 状況



マイ・タイムライン作成 サポート

【アンケート結果の概要】

Q.水害からの逃げ遅れゼロに向けて、マイ・タイムラインは有効だと思いますか。



94%が「マイ・タイムラインは有効だと思う」と回答いただいた。
 (6%は「無回答」)

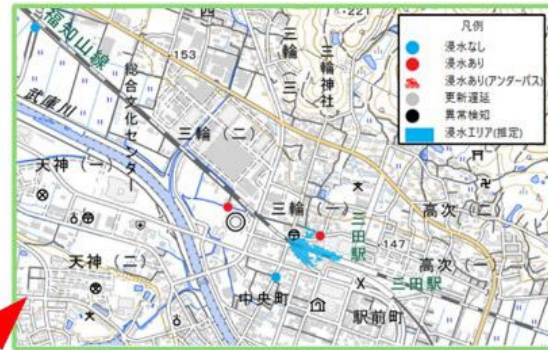
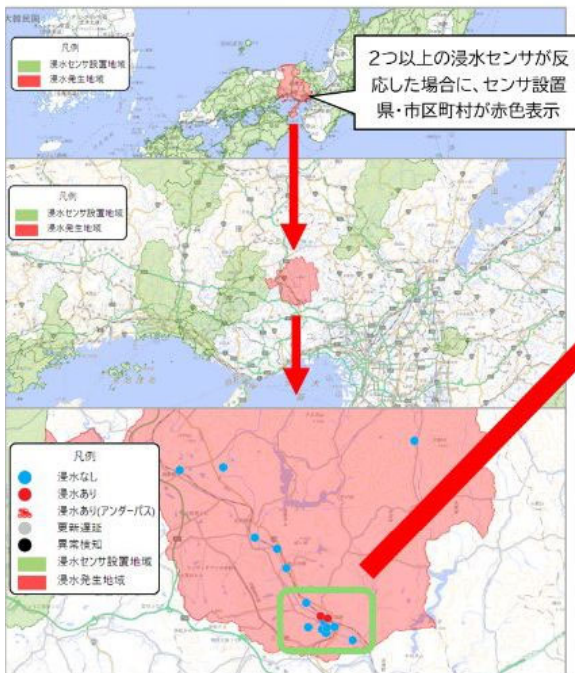
Q.水害リスク情報の空白域の解消について

水害リスク情報の空白域の解消について、講習会では地理院地図（電子国土WEB）において「自分で作る色別標高図」や「断面図」を活用して白地（洪水ハザードマップで浸水なし）の見える化を説明した。

- ✓ 地図の見方が分かった。川東地区の白色の意味。
- ✓ 住んでいる地域は洪水の心配は少ないが、高潮におきかえて考えることが重要だと思った。
- ✓ ハザードマップで白色の場所も危険であるということ。自分の住む地域の特徴をもっと知るべきだと思った。
- ✓ 令和8年に再度確認が必要
- ✓ 撫養町の最新ハザードマップが欲しい。(現状、白色の所)

浸水センサを活用したリアルタイム浸水状況把握

- ◆ 地気候変動の影響により水災害が激甚化・頻発化し、全国で大きな被害が発生。
- ◆ 域住民の生活・経済活動を守るため、市街地でのリアルタイムでの浸水状況を把握する必要性が高まっている。
- ◆ 浸水状況把握のために有用な浸水センサの設置促進のため、国土交通省は令和4年度より「ワンコイン浸水センサ実証実験」を実施。
- ◆ ワンコイン浸水センサ実証実験により、これまで約4,500基の浸水センサを設置。
- ◆ 浸水センサの情報の一部は、一般向けの表示システムでも確認可能(約2,000基)。



実証実験参加自治体: 埼玉県戸田市
(令和6年7月31日豪雨 浸水状況)



自動販売機連携型浸水センサ

自動販売機と離れた場所に設置された浸水センサを一体的に運用。自動販売機の収益を浸水センサの設置・維持管理に充てる。



自動販売機連携型浸水センサ

浸水センサの設置費用および運用費用は
飲料メーカーが負担
(自動販売機の収益を充てるため)

自販機詰め替え業者が定期的に
訪問・点検し、センサ破損・故障時は
飲料メーカーが対応

自動販売機設置に伴う**土地使用料等**は、
浸水センサの通信費用や自販機の売上等
に応じて**原則免除**

※「飲料メーカー」とは大塚ウエルネスベンディング株式会社を指します。

◆ワンコイン浸水センサ実証実験について

ワンコイン浸水センサ実証実験事務局
国土交通省 水管理・国土保全局
河川計画課 河川情報企画室
TEL:03-5253-8446(内線35-394)
E-mail:hqt-immersion-sensor@gxb.mlit.go.jp

◆自動販売機連携型浸水センサについて

一般財団法人 河川情報センター
企画・調整部
TEL:03-3239-8447(内線:152)
E-mail:ocs-info@river.or.jp

浸水センサの活用事例

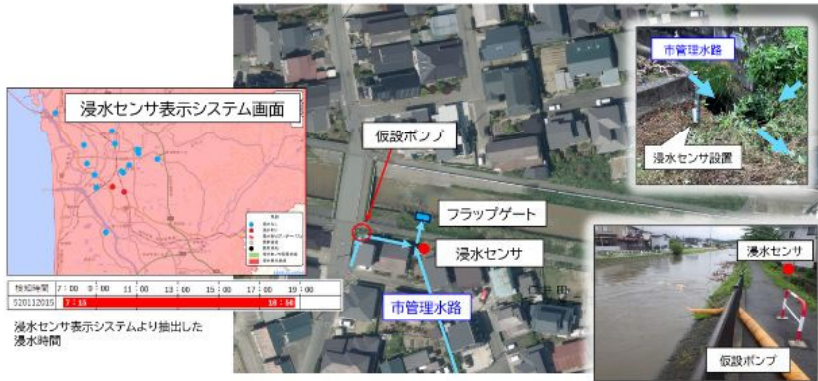
浸水センサ活用事例①

◆ 仮設ポンプの設置や撤去のタイミング把握への活用

場所 秋田市 降雨日時 令和6年7月9日 2:00~16:00 (累計雨量73mm)

活用内容

市管理水路と河川の接続部に設置された浸水センサの信号を確認することにより、排水のための**仮設ポンプの設置や撤去のタイミングを現地に行くことなく把握**することができた。



浸水センサ活用事例②

◆ 下校時間調整への活用

場所 兵庫県朝来市 降雨日時 令和6年9月11日 14:20~15:10 (最大10分雨量18.5mm)

活用内容

9月11日14:50頃に浸水センサの検知を確認し、近隣の学校関係者に市からメール通知。生徒の安全を考慮し、近隣校において**下校時間を遅らせる判断**に活用。



浸水センサ活用事例③

◆ 民間企業(朝日航洋株式会社)の従業員出社停止判断への活用

場所 埼玉県川越市 降雨日時 令和6年8月29日 13:00~翌20:00 (累計雨量275mm)

活用内容

8月30日深夜に会社付近の道路で浸水センサの検知を確認し、翌早朝も冠水が続いていたため、当該企業へレポートへの**従業員の出社停止を判断**することができた。



浸水センサ活用事例④

◆ 道路の通行止め/解除の判断への活用

場所 福岡県大牟田市 降雨日時 令和7年8月10~11日

活用内容

市内複数の道路が冠水し(最長箇所で4時間以上)、通行止めを実施。センサの検知情報により**速やかに通行止めが実施でき、解除についてもセンサ検知情報を参考にすることにより、現地確認などのマンパワーを削減**できた。



2026年 災害危機管理研修のご案内

2日間の
集中講座

明日、起こるかも知れない大災害…

その時、あなたは適切な行動がとれますか？
河川氾濫を想定した情報の収集・判断・対処行動等、
実践的な訓練を行います！

研修風景



対象 地方公共団体や国の防災担当者等

開催期間 2026年11月上旬の2日間

研修場所 一般財団法人河川情報センター
(東京都千代田区麹町1-3 ニッセイ半蔵門ビル)

募集人数 30名程度 ※先着順ですが、1機関あたりの参加者数を絞らせていただく場合があります。

研修参加費 20,000円 ※交通費、宿泊費、食費は含みません。宿泊先は各自でご手配ください。
※研修参加費の納入方法等につきましては、受講申込後にご連絡します。

申込み 6月頃に河川情報センターHPで申し込みサイトを公開します

研修日程 ◇2日間で、①防災や災害対応についての講義、②ロールプレイング方式の図上訓練、③図上訓練結果を踏まえた討論を行います。
◇1日目は午後からスタート、2日目は18時頃解散の予定です。

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00			
11/○ 1日目	このスケジュールは予定であり 変更する場合がありますのでご注意ください				受付	オリエンテーション	水防行政の基礎と最近の話題についての講義	休憩	① 避難情報の枠組みと防災行政における最近の動きについての講義	休憩	被災自治体の災害対応体験についての講義	休憩	図上訓練説明 班編成 河川情報センター 危機管理業務部
11/○ 2日目	事前説明 訓練準備	② 図上訓練 (実技:4時間30分)					休憩	振り返り 講評	休憩	③ 災害時の想定行動 についての討論	閉講式		

FRIC 一般財団法人 **河川情報センター**

【お問合せ】 危機管理業務部 担当：谷川、青木（お問合せのみ）
住所：〒102-8474 東京都千代田区麹町1丁目3番地（ニッセイ半蔵門ビル）
E-mail：kiki-kenshu@river.or.jp TEL：03-3239-8447

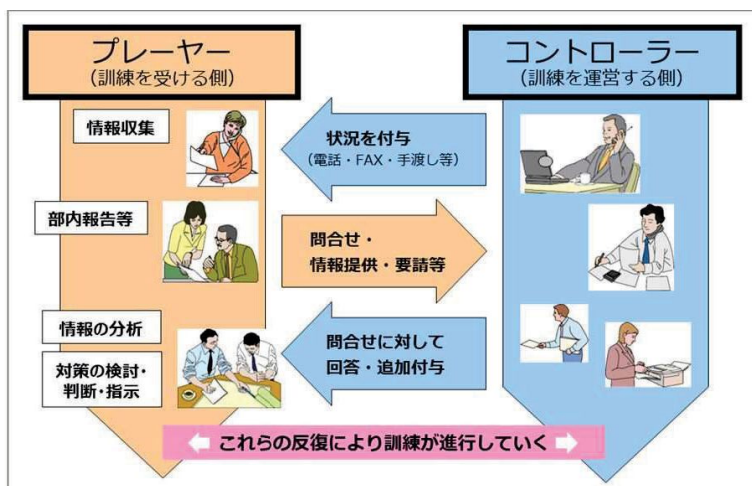
研修内容

■ 防災や災害対応についての講義

講義内容（予定）	講師（予定）
水防行政の最新の取組状況について	国土交通省 水管理・国土保全局
避難情報の枠組みと防災行政における最近の動き	内閣府（防災）
被災自治体の災害対応体験について	市町村の防災担当者

■ ロールプレイング方式の図上訓練

- ◇ ロールプレイング方式による災害危機管理訓練を実際に体験します。
- ◇ 想定シナリオは、洪水による被害が予想される自治体の災害対策本部の要員として、情報を収集・分析し、被害を予測し、住民に避難を呼びかける等の対応を実施する場面を予定しています。



【想定場面】

- ① 河川の増水による被害の予測分析
- ② 河川管理者との情報共有
- ③ 水防活動の実施
- ④ 住民に対する避難指示等の検討・発令
- ⑤ 避難指示等の広報周知、避難所の開設・運営
- ⑥ 要配慮者対応
- ⑦ 広報活動（特にマスコミへの対応）等

【訓練の特徴】

- ① 実際の災害時に近い状況の中で、自分自身の判断が求められます。
- ② 平常時とは大きく異なる、災害時の判断基準や優先順位を実践的に体験します。
- ③ 押し寄せる情報から、「今、何をなすべきか」を判断し実行することが必要となります。
- ④ シナリオはダイナミックに変化し、判断を誤ると状況は悪い方向に展開します。

■ 図上訓練結果を踏まえた討論

図上訓練を振り返り、災害対策本部の要員としてどのように行動すべきだったのか、これまでの経験・知識なども踏まえ、全員で討論・発表を行い、レベルアップを図ります。



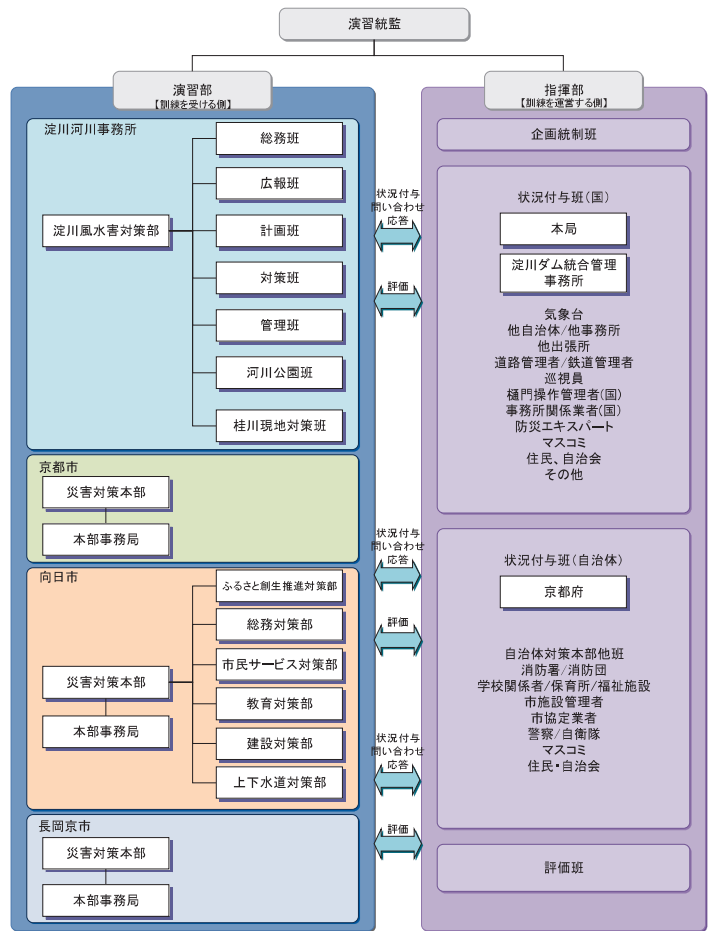
● 当研修は公益社団法人土木学会認定CPDプログラムの認定を予定しています。

災害対応ロールプレイング演習支援

- ◆ ロールプレイング演習は、シナリオを演習参加者に開示しない、**ブラインド型の訓練**です。**災害を模した状況の中で、災害対応を行う**ことで、実践的な対応能力を向上させる図上訓練です。
- ◆ これまで多くの災害対応ロールプレイング演習や訓練の企画・運営支援を行ってきた経験とノウハウがあります。
- ◆ 過去の**災害時に行政官として防災対応に当たった経験を有する多くの職員を擁し**ており、実務を考慮した体制構築支援が可能です。
- ◆ 数班の小規模訓練から全部班総動員、あるいは河川管理者と自治体の合同訓練まで、**様々な規模に対して演習支援**します。

演習編成の例

※河川管理者と流域自治体の合同訓練の例



FRICSの演習実績

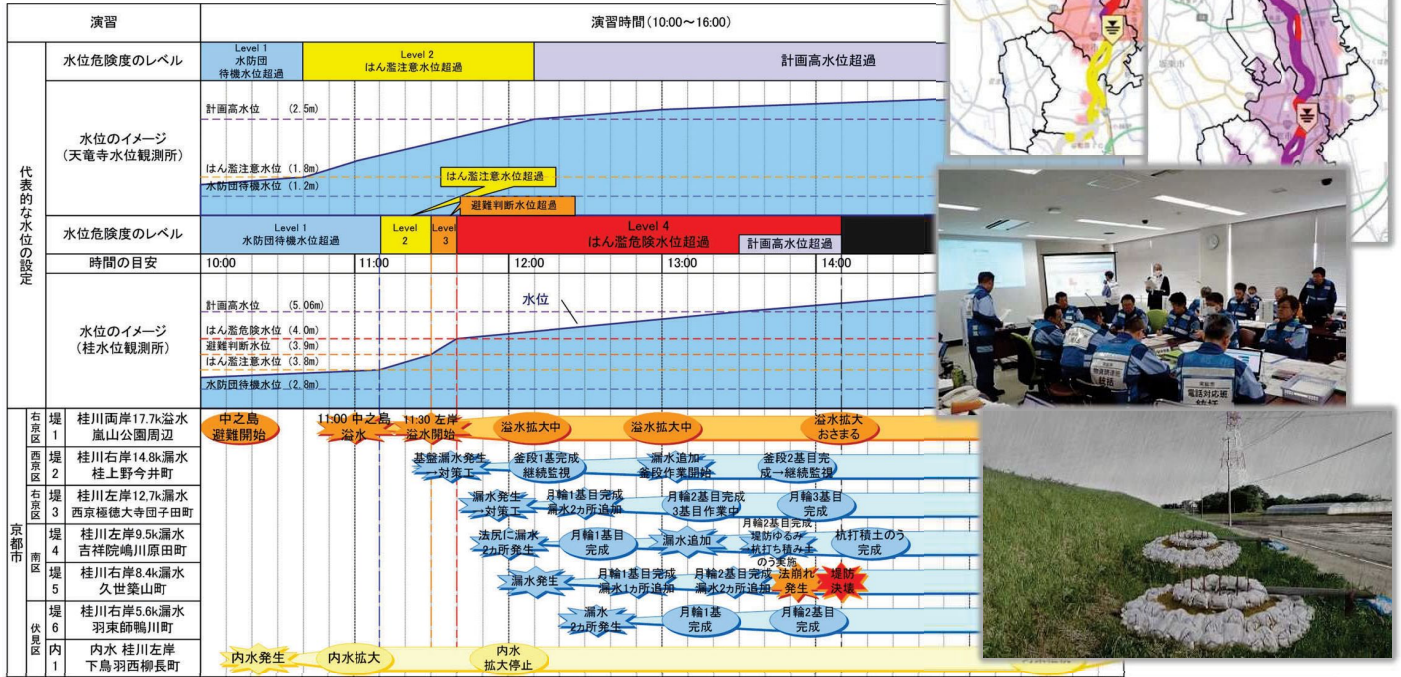
年度	業務名等	演習種別	参加機関
平成23年	淀川洪水対応演習支援業務	風水害図上演習	淀川河川事務所、木津川市
平成24年	淀川洪水対応演習支援業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所、高槻市、枚方市
平成25年	馬淵川危機管理演習企画運営業務	風水害図上演習	青森河川国道事務所、八戸市
平成26年	淀川管内洪水対応演習支援業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所、大山崎町、久御山町
平成26年	北上川上流災害対応演習運営支援	風水害図上演習	岩手河川国道事務所
平成27年	淀川河川事務所管内災害対応行動計画業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所
平成27年	岩木川危機管理演習運営補助業務	風水害図上演習	青森河川国道事務所、つがる市、鶴田町
平成27年	阿武隈川下流危機管理演習企画検討業務	風水害図上演習	仙台河川国道事務所
平成28年	淀川管内災害対応行動計画業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所、城陽市、井手町、京都府
平成29年	淀川管内危機管理対応行動計画業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所、大阪府、水防事務組合
平成31年	淀川管内危機管理支援業務	風水害図上演習	淀川河川事務所、京都市、向日市、長岡京市
令和02年	淀川管内危機管理支援業務	風水害図上演習、地震津波図上演習※	淀川河川事務所
令和02年	葛飾区水害図上訓練業務委託	風水害図上演習、職員研修(講義)	葛飾区役所
令和03年	葛飾区水害図上訓練業務委託	風水害図上演習、職員研修(講義)	葛飾区役所
令和04年	令和4年度葛飾区水害図上訓練業務委託	風水害図上演習、職員研修(講義)	葛飾区役所
令和05年	江東5区大規模水害広域避難体制構築支援業務委託	広域避難情報発令図上訓練	墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区他
令和05年	葛飾区水害図上訓練シナリオ等作成支援業務委託	風水害図上演習企画	葛飾区役所
令和06年	江東5区大規模水害広域避難体制構築支援業務委託	広域避難情報発令図上訓練	墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区他
令和07年	常総市洪水対応演習	風水害図上演習	常総市

※地震津波図上演習は事務所のみ参加

災害対応ロールプレイング演習支援

- ◆ 洪水対応演習に加え、地震対応演習にも対応します。
- ◆ IDR4M、デジタルタイムラインを使った演習にも対応します。

洪水対応演習シナリオの例



地震・津波演習シナリオの例



各機関からの話題内容

1. 松山河川国道事務所
2. 国土地理院
3. 松山地方気象台
4. 河川情報センター
5. 水災害予報センター

5月29日（金）から、新たな防災気象情報の運用を開始します
～情報名称にレベルの数字をつけて発表します～

新たな防災気象情報の運用開始日について、令和8年5月29日（金）としますので、お知らせします。

新たな防災気象情報の運用を5月29日（金）から開始します。新情報では、情報名称に警戒レベルの数字をつけて発表することで、市町村等が発令する避難情報や住民がとるべき避難行動との対応が分かりやすくなります。

なお、運用開始の前日28日（木）13時頃から情報発表システムの切替作業を行い、新情報が順次発表されることとなります。システムの切替以降は、順次発表される新情報を気象警報等としてご利用いただきますようお願いいたします。このシステムの切替当日（5月28日）の詳細については、後日別途お知らせします。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかげ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの)住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!>					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

新たな防災気象情報

【特設ページ】

新たな防災気象情報の具体的内容や変更点等については、以下の特設ページにて掲載しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>

<問い合わせ先>

気象庁大気海洋部業務課 蒔田、戸野塚

TEL 代表：03-6758-3900（内線 4121、4120）、直通：03-3434-9055

水管理・国土保全局河川計画課 河川情報企画室 米森、上平

TEL 代表：03-5253-8111（内線 35398、35394）、直通：03-5253-8446

水防法に基づく氾濫通報制度等について

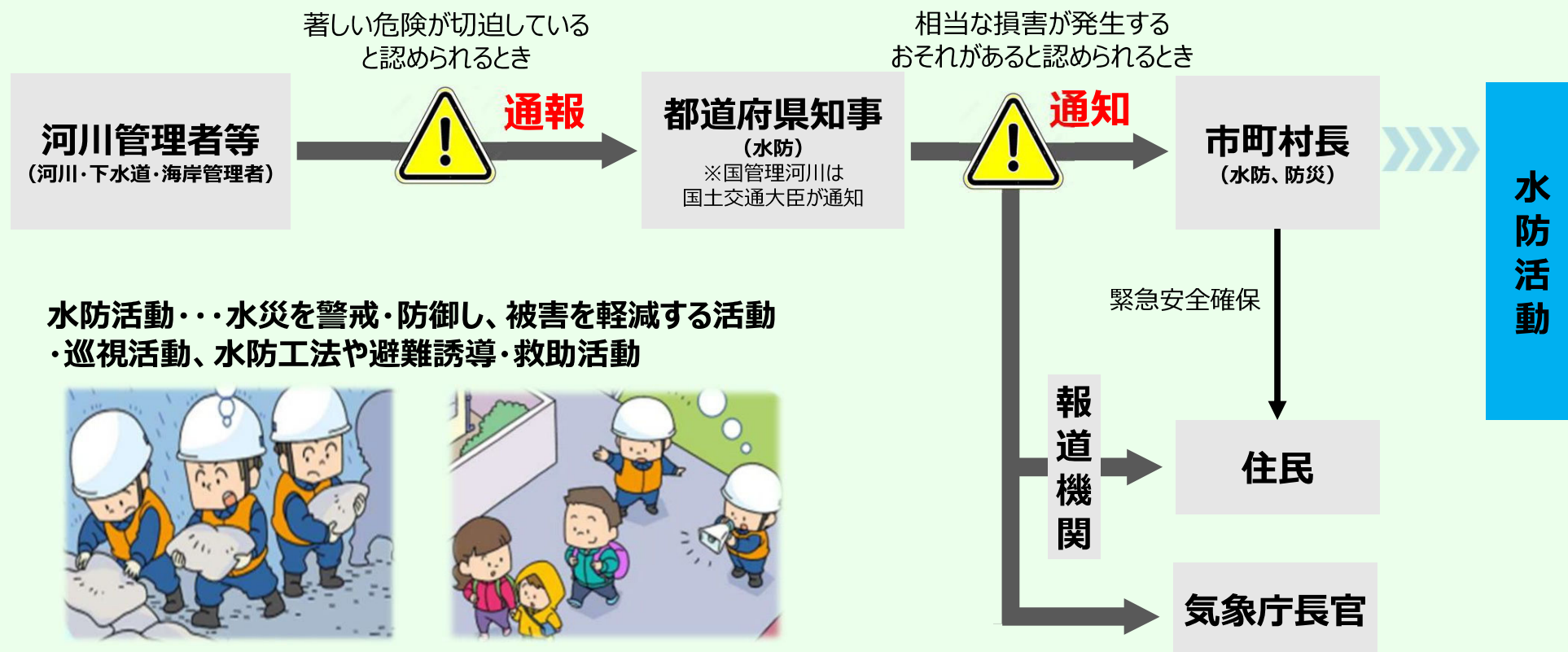
令和8年 3月
水管理・国土保全局

- 氾濫によって住民の生命に影響が及ぶ蓋然性が高くなる状況（警戒レベル5となる場合）においては、その状況の速やかな把握や迅速な身の安全を守る行動等の対応をとることが重要となる。
- 氾濫による著しい危険が切迫した状態にあることを、河川管理者等が水防事務を担う都道府県知事等にプッシュ型で通報し、通報を受けた都道府県知事が、水防関係者に通知を行うことで、市町村長等による迅速な緊急安全確保措置の指示やその他の的確な水防活動に繋げる。

※なお、通報を受けた都道府県知事が気象庁長官にも通知を行うことで、特別警報の発表の判断要素として活用される。

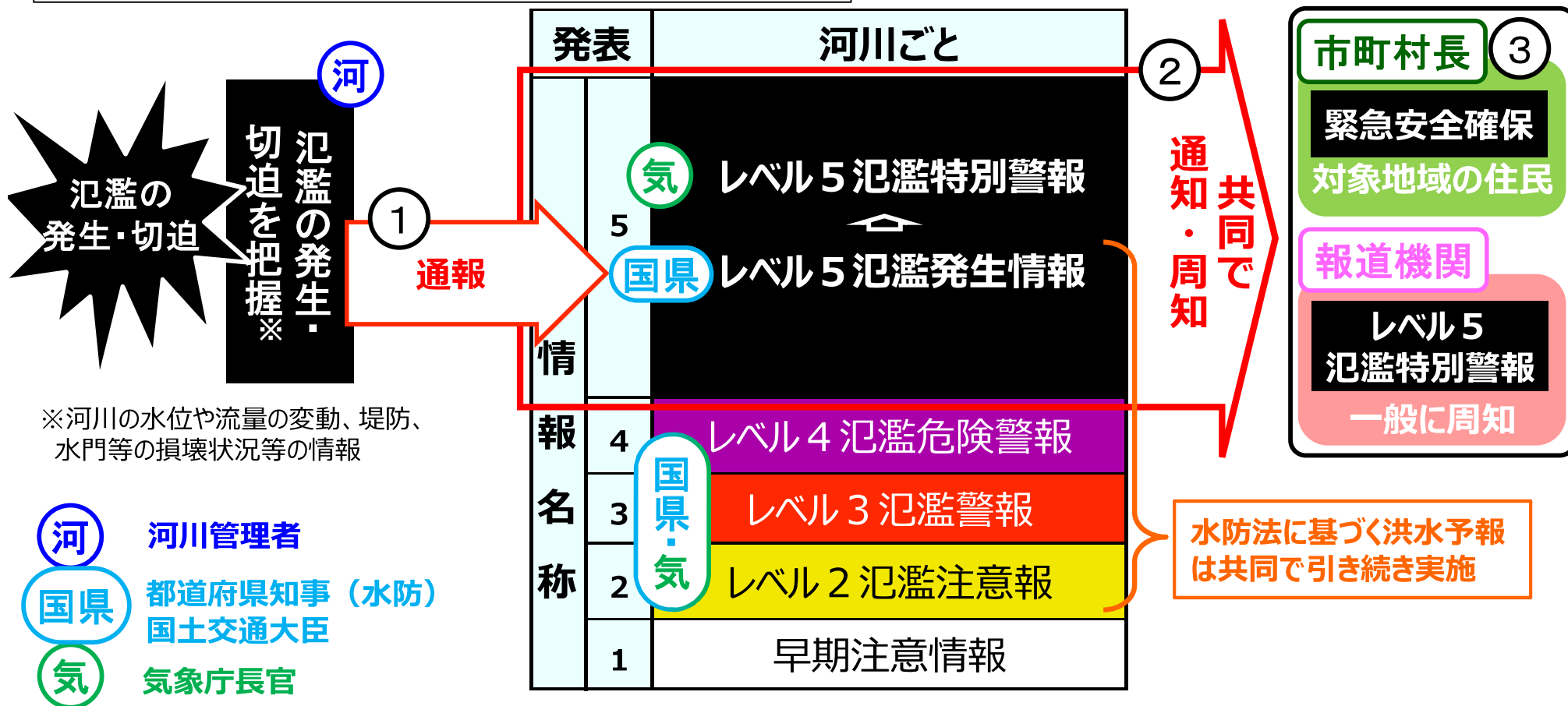
※浸水想定区域・・・住宅等が所在する区域において、洪水や高潮による氾濫等により浸水が想定される区域（市町村がハザードマップを作成している）

新たな通報制度の概要



- ①洪水による氾濫の発生や氾濫が迫っていることを関係者に**プッシュ型で情報提供**するため、**河川管理者等**は、**氾濫による危険の切迫**を認める場合に都道府県知事へ**通報する制度を創設** 【水防法 新第24条の2第1項、新第25条第1項】
- ②**国土交通大臣又は都道府県知事**は、河川管理者からの通報に基づき、**レベル5 氾濫発生情報**を関係機関へ**通知**するほか、気象庁長官の求めに応じ、**洪水の特別警報の判断に必要な情報**（河川の水位や流量の変動、堤防、水門等の損壊状況等）**を提供** 【水防法 第13条の4、新第24条の2第2項、気象業務法 新第13条の2第6項、第7項、第8項】
- ③**市町村長**は、国土交通大臣又は都道府県知事、気象庁長官からの「レベル5 氾濫特別警報（レベル5 氾濫発生情報と共同で実施）」の通知を踏まえ、**対象地域の住民に対して緊急安全確保の発令を判断**

警戒レベル5相当情報の伝達の流れ [洪水予報河川]



＜現在の河川氾濫等に関する情報＞

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川	左記以外の河川も含む 洪水警報等	
河川数	約400河川	約1,800河川	—	—
発表主体	河川事務所または 都道府県と気象台	河川事務所または都道府県	気象台	気象台
発表単位	河川ごと	河川ごと	市町村ごと	市町村ごと
対象とする 主な現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫	内水氾濫
発表指標	水位（実測・予測）	水位（実測）	流域雨量指数・表面雨量指数 （解析・予測）	表面雨量指数（流域雨量指数） （解析・予測）
情報名称	5	氾濫発生情報	氾濫発生情報	大雨特別警報（浸水害）
	4	氾濫危険情報	氾濫危険情報	
	3	氾濫警戒情報	氾濫警戒情報	大雨警報（浸水害） 大雨注意報
	2	氾濫注意情報	氾濫注意情報	※警戒レベル相当情報としての位置づけなし
	1	早期注意情報		早期注意情報

- 河川ごとの情報（水防活動用の情報）と市町村ごとの情報（一般向けの警報等）がある。
- 気象台の発表情報に、警戒レベル4相当や5相当の情報がないものがある。
- 大雨警報・注意報は、警戒レベル相当情報としての位置づけがない。

- 令和8年5月下旬から、河川の氾濫に関する情報は、警戒レベルとの関係から以下のようになります。
- 例えば、警戒レベル3相当の情報は、
 - <洪水予報河川> レベル3 氾濫警報^①等の相当情報を参照（氾濫警戒情報等から名称変更）
 - <水位周知河川> レベル3 氾濫警戒情報^②等の相当情報を参照（レベル表記を追加）
 - ※河川の情報が入手できない場合などにレベル3 大雨警報^③を参照
 - <その他河川_(上記以外)> レベル3 大雨警報^③等を参照（洪水警報がレベル3 大雨警報へ統合）
- 氾濫通報に基づくレベル5 氾濫発生情報^④は、あらかじめ定められた河川で運用されます。

河川氾濫・大雨に関する情報体系と名称

河川氾濫等に関する情報				大雨に関する情報	
分類	洪水予報河川	水位周知河川	その他河川		
河川数	約400河川	約1,800河川	約18,000河川		
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台	河川事務所または都道府県	河川事務所または都道府県		
発表単位	河川ごと	河川ごと	河川ごと		
対象とする主な現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫		
発表指標	水位（実測・予測）	水位（実測）	確認情報等		
情報名称	5	レベル5 氾濫特別警報 [*]	レベル5 氾濫発生情報 ^④		レベル5 氾濫発生情報 ^④
	4	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 氾濫危険情報	市町村ごとの大雨警報を参考に判断	レベル4 大雨危険警報
	3	レベル3 氾濫警報 ^①	レベル3 氾濫警戒情報 ^②		レベル3 大雨警報 ^③
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 氾濫注意情報		レベル2 大雨注意報
	1	早期注意情報			早期注意情報

※レベル5 氾濫特別警報とレベル5 氾濫発生情報^④は一体的に発表

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報等）
- レベル5相当情報については、**氾濫特別警報を新たに運用するとともに、氾濫通報も活用して運用。**

水防法に基づく水位周知や氾濫通報を含めた新しい防災気象情報

	河川氾濫			大雨※4	土砂災害	高潮	(警戒レベルごとに) 住民がとるべき行動
	洪水予報河川	水位周知河川	その他 河川・下水道	低地の浸水や 洪水予報河川以外 の外水氾濫	急傾斜地の がけ崩れや土石流	海水面上昇や 波の打上げによる 浸水	
	河川ごと			市町村ごと			
警戒レベル 5相当	レベル5※1,2 氾濫特別警報	レベル5※2 氾濫発生情報	レベル5※2 氾濫発生情報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	※1,2,5 レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに 安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>							
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4※3 氾濫危険情報	-	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 氾濫警戒情報	-	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の 準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 氾濫注意情報	-	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報						災害への心構えを高める

- ※1 レベル5氾濫特別警報とレベル5氾濫発生情報（高潮の場合はレベル5高潮特別警報とレベル5高潮氾濫発生情報）は一体的に発表される。
- ※2 レベル5氾濫発生情報（高潮の場合はレベル5高潮氾濫発生情報）については、河川管理者等による氾濫通報を用いて運用されるほか、特別警報の発表判断にも活用。氾濫通報を運用する対象については、緊急安全確保に特に留意が必要となる氾濫をもたらす河川・海岸・下水道を選定し、氾濫状況（家屋倒壊、深い浸水、地下街浸水）が想定される河川区間等とともに、事前に水防計画で定めておく。
- ※3 水位周知河川において河川管理者から発表されている5段階の水位到達情報については今後も継続して運用される（レベル4氾濫危険情報以外の運用は任意）。
- ※4 大雨に関する情報（市町村ごとに発表）では、大雨による低地の浸水に加えて洪水予報河川以外の外水氾濫についても扱う。
- ※5 高潮では、より精度の高い予測情報を国土交通省・気象庁・都道府県で共同で予報する制度を一部海岸で新たに運用。

- 警戒レベル4相当は、現在の土砂災害警戒情報から**レベル4土砂災害危険警報**に呼称が変更される※が、**情報の伝達の流れは変わらない。**

※土砂災害防止法第27条に基づく避難に資する情報であることは変わらない

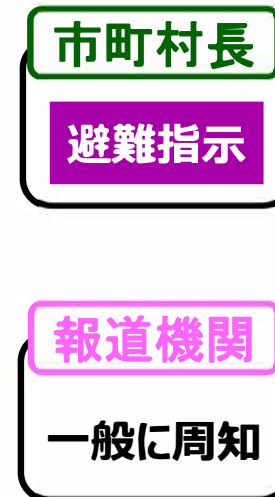
- **レベル3土砂災害警報**は、3時間先※にレベル4土砂災害危険警報の基準に達すると予想される場合に発表。

現在の大雨警報（土砂災害）に比べ、警戒レベル4相当に至らない**情報発表が大幅減。**

※4～6時間先にレベル4基準に到達すると予想が可能な場合にも発表

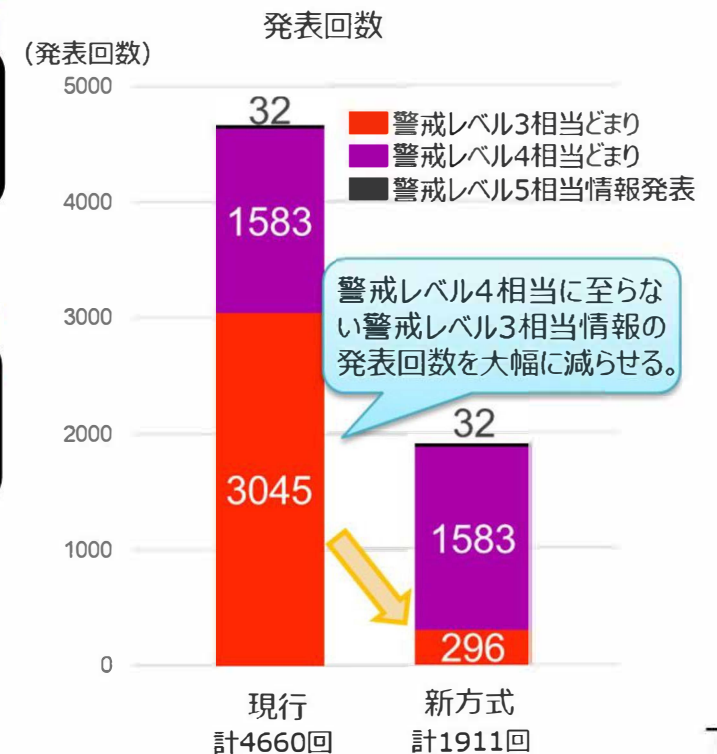
警戒レベル4相当情報の伝達の流れ

発表指標		60分雨量（解析・予測） 土壌雨量指数（解析・予測）
情報名称	5	レベル5土砂災害特別警報
	4	レベル4土砂災害危険警報
	3	レベル3土砂災害警報
	2	レベル2土砂災害注意報
	1	早期注意情報



県 都道府県知事 **気** 気象庁長官

警戒レベル3相当情報の発表回数の比較（令和3年のデータに基づく）



川の水位等が確認できる“川の防災情報”

- 河川やダム、降雨の状況などの各種河川情報を集約し、**全国の情報を一元的に提供**
- **基準水位超過や洪水予報の発表など洪水の危険が高まった箇所は着色の上、強調して表示。**

河川水位

国・都道府県の水位情報が確認可能。
水位が上昇すると着色強調表示。

横断図
水位 4.76m

水位グラフ

- 氾濫危険水位超過
- 避難判断水位超過
- 氾濫注意水位超過
- 水防団待機水位超過
- 平常
- 基準水位なし
- 欠測

ダム情報

ダム（国・水資源機構・都道府県・農水・発電等）の貯水位等が確認可能。
ダムの操作状況に応じて着色強調表示。

貯水位

流入・放流量

- 緊急放流 実施の可能性あり又は実施中
- 洪水貯留操作実施中
- 平常
- 欠測

観測所情報

最新観測値 2022/08/16 10:00

河川横断面 水位グラフ 詳細情報

水位 6.43m↑

レーダ雨量

国土交通省のXRAINによる250mメッシュ、リアルタイムな降雨状況。

欠測 1 5 10 20 30 50 80 mm/h

ライブカメラ

国・都道府県のカメラ画像。平常時画像と並べて状況の確認が可能。

ライブ (災害時) 平常時

洪水予報等

指定河川洪水予報（国・都道府県）及び水位到達情報（国のみ）が確認可能。
情報が発表されている河川を着色表示。

氾濫発生情報

氾濫危険情報

氾濫警戒情報

氾濫注意情報

洪水予報

【警報レベル3相当情報（洪水）】球磨川では、避難判断水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

発表状況

第2号氾濫警戒情報 Lv.3相当

2021/05/27 08:30

原簿情報

基準観測所（発表地点の観測値）

多良木 水位 1.39m

一武 水位 2.40m

基準観測所の水位予測→

- 川の防災情報に新機能を追加
- 川の防災情報に、河川監視カメラ等の静止画像をアーカイブし、3日前まで遡って過去の静止画像を閲覧可能
- 再生ボタンをクリックすると、静止画像のコマ送り動画を閲覧可能



国土交通省
川の防災情報

山形県東田川郡庄内町

2025/05/16 09:37

過去日付選択

日付 時刻

2025/05/16 09 35

2025/05/15

2025/05/14

2025/05/13

観測所情報

もがみがわすいけい もがみがわ
鈴川排水機場 最上川水系 最上川

観測詳細

現在 平常時

8:00

山形県酒田市最上川1.7. 7k 鈴川排水機場

再生

上の再生ボタンを押すと、直前の10分間のカメラ画像をコマ送り表示できます。表示間隔は10分間隔です。過去画像がない場合はその時刻をスキップします。

コマ送り動画再生

浸水想定区域等に基づく“ハザードマップ”

○概要

- その土地の災害に対する危険性や避難場所などが記されている地図。

○求められる行動

- ハザードマップは、自治体のウェブサイト等で確認できます。前もってハザードマップで自宅の災害の危険性や、避難場所までの経路を確認しておきましょう。
- また、ご家族の状況などを踏まえて、災害の危険が差し迫った時にどのような行動をとるかをあらかじめ決めておきましょう。

おもなハザードマップ

ハザードマップとは、災害発生時に被災が想定される区域と避難場所・避難経路などを確認できる地図

洪水 河川氾濫時に浸水が想定される区域等	高潮 台風等で起きた高潮による氾濫時に想定される区域等
津波 津波が陸上に押し寄せた際に浸水が想定される区域等	ため池 決壊時に浸水が想定される区域等
内水 排水能力を超えた大雨時に浸水が想定される区域等	火山 大きな噴石や火砕流、溶岩流等の影響範囲
土砂災害 土砂災害(がけ崩れ、土石流、地すべり)が発生するおそれがある地域	地震 大規模地震発生時に想定される揺れの大きさ

2025年7月制作 Yahoo!ニュース オリジナル 監修：国土交通省

洪水ハザードマップのポイント

川の水があふれたり、堤防が決壊したときのために備えるマップ

- ① 想定浸水域を知る**
自宅等は色がかかっている場所か確認
- ② 想定浸水深を知る**
深さによって色分けされている

20m~	
10~20m	
5.0~10m	2階の屋根以上が浸水する
3.0~5.0m	2階部分まで浸水する程度
0.5~3.0m	1階天井まで浸水する程度
0.0~0.5m	大人の膝までつかる程度
- ③ 避難場所・ルートを確認する**
最短かつ色がかかっていない安全なルートを知っておく

2025年7月制作 Yahoo!ニュース オリジナル 監修：国土交通省

土砂災害ハザードマップのポイント

がけ崩れ、土石流、地すべりといった土砂災害に備えるマップ

- ① 危険の有無を知る**
自宅等に色がかかっているか確認する
- ② 危険度を知る**
土砂災害警戒区域

がけ崩れ	土石流	地すべり
------	-----	------

 がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域
 土砂災害特別警戒区域

がけ崩れ	土石流	地すべり
------	-----	------

 土砂災害警戒区域のうち、がけ崩れ等が発生した場合に建築物に損壊が生じ住民等に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域
- ③ 避難場所・ルートを確認する**
最短かつ色がかかっていない安全なルートを知っておく ※大雨で避難を行う際は色がかからない箇所も注意(がけ地や小さな沢など)

2025年7月制作 Yahoo!ニュース オリジナル 監修：国土交通省

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

- 災害リスク情報や防災に役立つ情報を、全国どこでも重ねて閲覧できるWeb地図サイト
- 災害リスクをまとめて検索することもできる。

身のまわりの災害リスクを調べる

重ねるハザードマップ

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

住所から探す 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

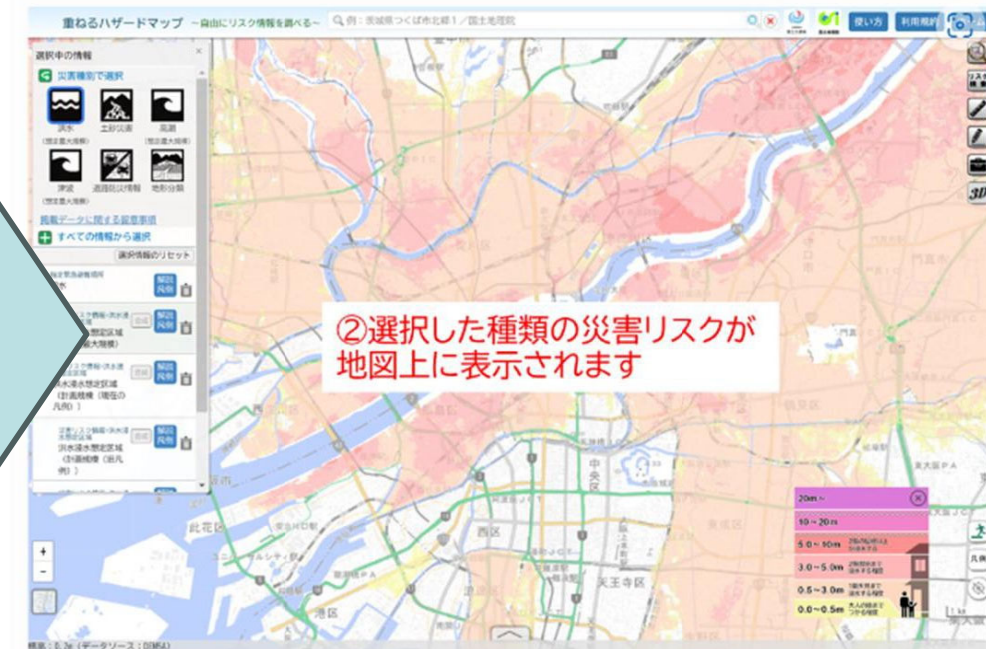
現在地から探す 現在地から探す

新機能(災害リスク情報のテキスト表示)について

地図から探す



災害の種類から選ぶ



初期表示画面(洪水をクリックした場合)

参考資料

- 水防法第24条の2の氾濫等の通報については、効率的に運用するため、都道府県の水防協議会で協議した上で、氾濫等の通報の対象となる河川等の区域、通報の基準を水防計画に定めることが必要。（水防管理団体が作成する水防計画の手引きにも必要に応じて定める）
- 円滑な検討・協議や効果的な制度運用に資するよう、氾濫通報の対象となる河川等の区域、通報の基準の記載例を水防計画作成の手引きに示しつつ、全国の標準的な考え方は「氾濫・決壊・漏水等の通報に係る運用指針（水防計画作成の手引きの添付）」に記載

水防計画作成の手引き （都道府県版）

第10章 水防活動

- 10.1 水防配備
- 10.2 巡視及び警戒
- 10.3 水防作業
- 10.4 緊急通行
- 10.5 警戒区域の指定
- 10.6 避難のための立退き
- 10.7 決壊・漏水等の通報及びその後の措置**
- 10.8 水防配備の解除

令和6年12月

国土交通省 水管理・国土保全局

河川環境課 水防企画室

氾濫・決壊・漏水等の通報に係る運用指針(案)←

←

1. 本運用指針の取扱い←

本運用指針は、令和7年12月の水防法の改正を踏まえ、水防法第24条の2の氾濫等の通報、水防法第25条の決壊の通報等の標準的な考え方を記したものである。←

水防法第24条の2及び第25条の通報制度の運用方針については本指針を参考の上、地域の実態に即したものとなるよう、水防協議会において関係者で綿密に協議を行うよう努められたい。←

【解説】←

令和3年の災害対策基本法改正により、市町村長が新たに、緊急安全確保の措置を指示できることが規定され、災害の発生が切迫している状況について市町村が住民に周知し、立退き避難に加えて緊急安全確保も含めて、適確な避難行動につなげていくことが非常に重要となってきている。←

水防法においてはこれまで、水災害が発生又は切迫している状況について、水防管理者、水防団長、消防機関の長又は水防協力団体の代表者による決壊の通報、洪水予報河川等における氾濫発生情報（越水等の確認情報）の提供のほか、地域毎の水防計画に基づき越水等が発生した際に水防に協力する立場の河川管理者による周知等によって情報提供が行われてきた。←

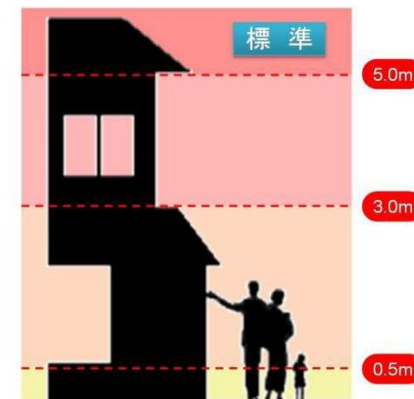
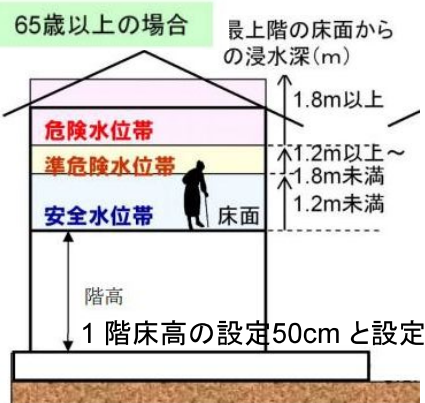
一方、近年、観測技術の高度化・観測設備の整備の進展等により、河川管理者、下水道管理者及び海岸管理者（以下「河川管理者等」という。）が氾濫の発生の危険が切迫した状態にあることをプッシュ型で情報提供する素地が整ってきたところである。←

- 避難指示から緊急安全確保に切り替わった時は立ち退き避難から屋内安全確保への行動変容を促すことが必要
- 一方、氾濫形態によっては引き続き早急な立ち退き避難が必要となる場合があり、そのような「特に留意が必要な氾濫」については少なくとも通報することが必要。(単なる高所移動ではなく、堅牢かつ十分な高さを有する近隣の建物への移動が必要となるような事態をもたらす氾濫を対象)
- 具体的には、想定最大規模の浸水想定区域において、以下の区域で発生する氾濫が対象

● **家屋の倒壊・流出に至り得る「家屋倒壊等氾濫想定区域」**
⇒木造家屋の場合は、近隣の堅牢な建物への立ち退き避難が必要

● **平屋住宅所在エリアで「深い浸水深」が所在する区域**
⇒平屋の場合は、近隣の2階以上の建物への立ち退き避難が必要

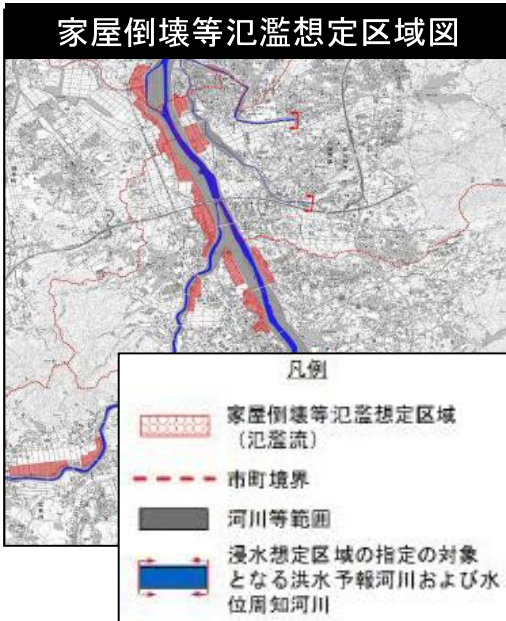
※65歳以上の場合、水深1.7m(1階床高50cm)では死亡率が12%となる。
2階床下に相当する水深は3m



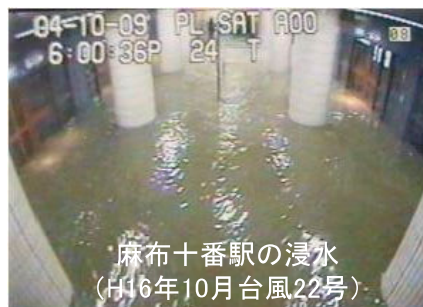
	死亡率 (%)
危険水位帯	91.75
準危険水位帯	12.00
安全水位帯	0.023

※洪水浸水想定区域図作成マニュアル(第4版)

※「水害の被害指標分析の手引」(H25 試行版)



● **氾濫流が流入すると脱出が困難になる地下街が所在する区域** ⇒速やかに地下街等からの立ち退き避難が必要



○河川管理者等が把握可能な氾濫の切迫・発生情報としては、確認（決壊等の確認）、計測（水位到達等）、推定・予測（水位予測等）がある。

①確認情報：

巡視・カメラによる越水・破堤等、堤防の異常な漏水・侵食の進行や亀裂・すべり等の確認

②計測情報：

水位計・放流量等による計測数値により氾濫の切迫・発生を判断

予め計測情報と対象区間の越水の可能性を整理されている場合はその区間評価も含む

〔 ex: 基準水位観測所等の水位による対象区間の越水の可能性の把握（氾濫する可能性のある水位※の到達）
異常洪水時防災操作した際のダム直下の越水の可能性の把握（〇〇m³/s以上の放流） 〕

施設の操作及び機能支障情報から氾濫の切迫・発生を判断

予め設定した水位に達した状況で施設の操作及び機能支障を確認

ex: 排水機場のポンプを停止した際の越水の可能性の把握（対象河川の水位が〇〇m以上の時にポンプの停止）



加工

※今後名称変更の可能性あり

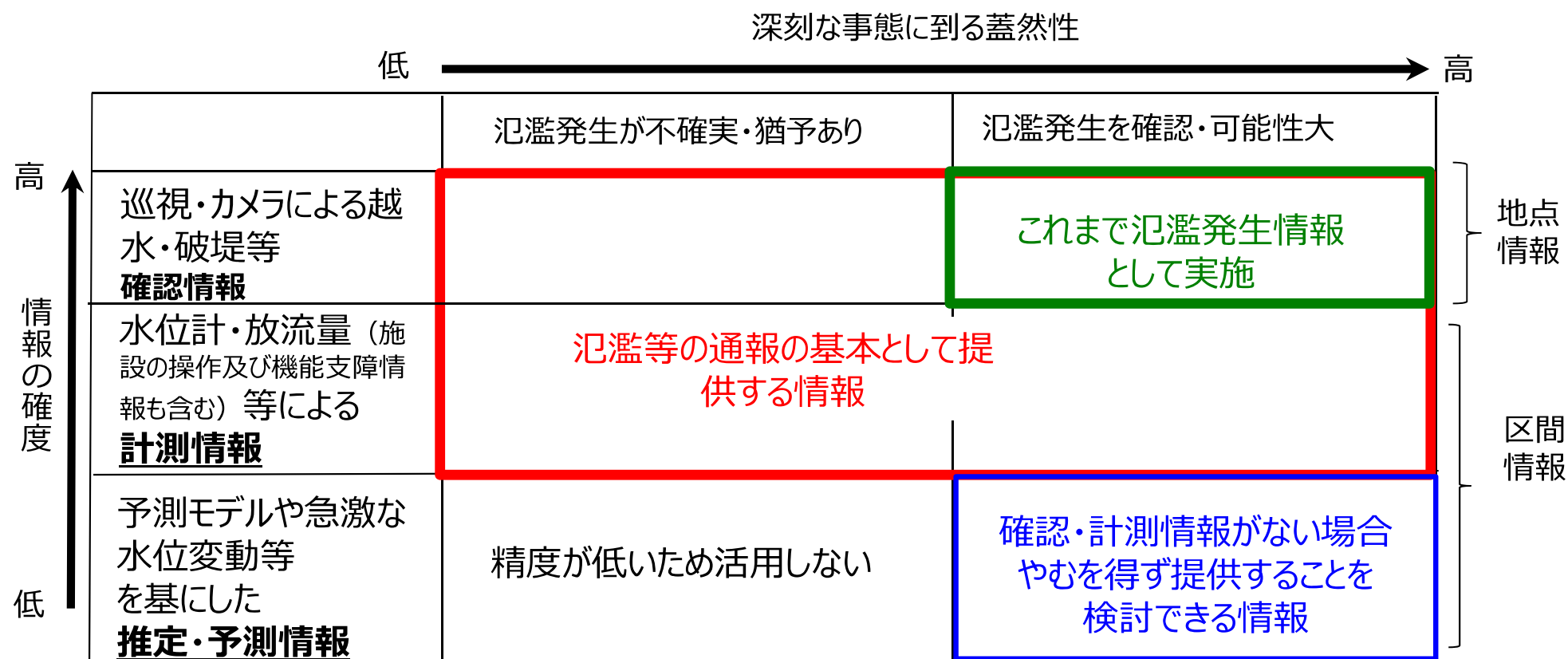
③推定・予測情報：

計測情報や雨量情報を元に予測モデルにより氾濫の切迫・発生を推定

発災時に計測情報から越水・破堤を推定

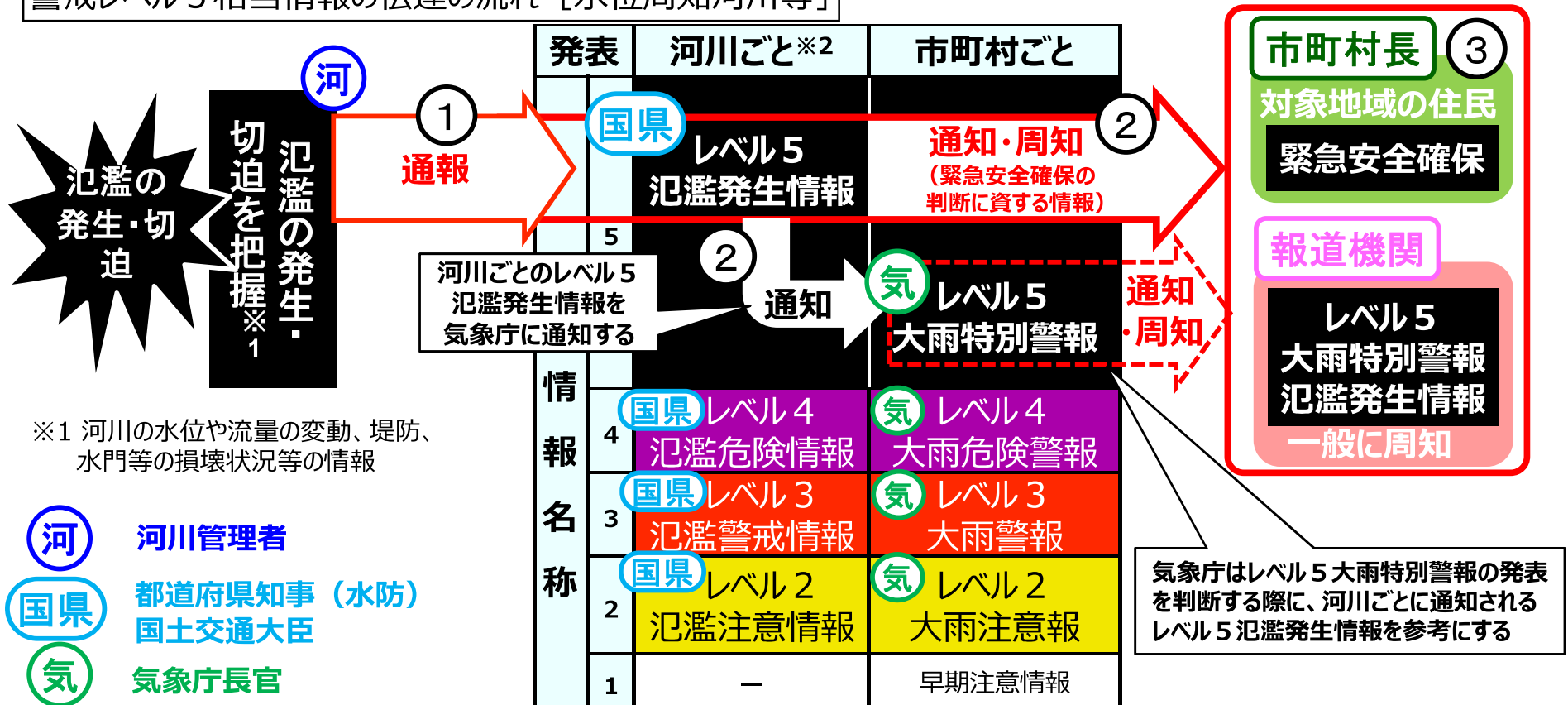
ex: 急激な水位低下等から決壊の可能性を推定

- 「確認情報」は目視等で確認した最も信頼できる情報であるが、見逃しが多くなるため、「確認情報」と併せて観測区間を網羅的に把握可能な計測情報も基本として活用
- 推定・予測情報は確度が低いため氾濫通報に活用しないことを原則とするが、確認・計測情報がない場合は、複数の推定・予測情報を用いてやむを得ず活用することを検討することが可能
- 確度の低い情報を通報した後に確度の高い情報を確認した場合は追加で通報。
- 事前に施設の操作及び機能支障情報と対象区間の越水の可能性を整理されている場合のみ水防計画に記載（対象河川の水位が〇〇m以上の時にポンプの停止等）



- ①洪水による氾濫の発生や氾濫が迫っていることを関係者に**プッシュ型**で**情報提供**するため、**河川管理者等**は、**氾濫による危険の切迫**を認める場合に都道府県知事へ**通報する制度を創設**。
【水防法 新第24条の2第1項、新第25条第1項】
- ②**国土交通大臣又は都道府県知事**は、河川管理者からの通報に基づき、**レベル5 氾濫発生情報**を関係機関へ**通知・周知**（気象庁が発表するレベル5 大雨特別警報の発表判断にも活用）。
【水防法 第13条の4、新第24条の2第2項】
- ③**市町村長**は、国土交通大臣又は都道府県知事からの「レベル5 氾濫発生情報」の通知を踏まえ、**対象地域の住民に対して緊急安全確保の発令を判断**。

警戒レベル5相当情報の伝達の流れ [水位周知河川等]



※1 河川の水位や流量の変動、堤防、水門等の損壊状況等の情報

- 河 河川管理者
- 国県 都道府県知事 (水防) 国土交通大臣
- 気 気象庁長官

※2 これまで氾濫発生情報は、水位周知河川で任意の取り組みとして氾濫を確認した際に発表していたが、今後は水位周知河川、その他河川は切迫段階でも「レベル5 氾濫発生情報」を発表（予め水防計画に定められた氾濫等の通報の対象河川）。水位周知河川によっては、レベル5 氾濫発生情報、レベル4 氾濫危険情報のみ発表、その他河川はレベル5 氾濫発生情報のみ発表の場合がある。

- ① 高潮による氾濫の発生や氾濫が迫っていることを関係者に**プッシュ型で情報提供**するため、**海岸管理者等**は、**氾濫による危険の切迫**を認める場合に都道府県知事へ**通報する制度を創設**。【水防法 新第24条の2 第1項、新第25条第1項】
- ② **国土交通大臣又は都道府県知事**は、海岸管理者等からの通報に基づき、**レベル5 高潮氾濫発生情報を関係機関へ通知・周知**するほか、気象庁の求めに応じ、**高潮の特別警報の判断に必要な情報**（指定海岸の水位の変動、堤防、水門等の損壊状況等）**を提供**。【水防法 第13条の4、新第24条の2 第2項、気象業務法 新第13条の2 第5項、第7項、第8項】
- ③ **市町村長**は、国土交通大臣、気象庁長官、都道府県知事からの「レベル5 高潮特別警報（レベル5 高潮氾濫発生情報と共同で実施）」の通知を踏まえ、**対象地域の住民に対して緊急安全確保の発令を判断**。

警戒レベル5相当情報の伝達の流れ[高潮予報海岸]



- ① 高潮による氾濫の発生や氾濫が迫っていることを関係者に**プッシュ型で情報提供**するため、**海岸管理者等**は、**氾濫による危険の切迫**を認める場合に都道府県知事へ**通報する制度を創設**。
【水防法 新第24条の2第1項、新第25条第1項】
- ② **国土交通大臣又は都道府県知事**は、海岸管理者等からの通報に基づき、**レベル5高潮氾濫発生情報を関係機関へ通知・周知**。(気象庁が発表するレベル5高潮特別警報の発表判断にも活用) 【水防法 第13条の4、新第24条の2第2項】
- ③ **市町村長**は、国土交通大臣、都道府県知事からの「レベル5高潮氾濫発生情報」の通知を踏まえ、**対象地域の住民に対して緊急安全確保の発令を判断**。

警戒レベル5相当情報の伝達の[その他海岸]

